

# 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事

図面リスト					
図番 No	図名	SCALE	図番 No	図名	SCALE
A-00	タイトル・図面リスト	-	A-19	改修後 建具配置図	1/200
A-01	改修工事特記仕様書(1)	-	A-20	改修後 建具表(1)	1/50
A-02	改修工事特記仕様書(2)	-	A-21	改修後 建具表(2)	1/50
A-03	改修工事特記仕様書(3)	-	A-22	改修後 建具表(3)	1/50
A-04	改修工事特記仕様書(4)	-	A-23	外構撤去図	1/200
A-05	改修工事特記仕様書(5)	-	A-24	仮設計画図(参考図)	1/500
A-06	付近見取図・配置図・工事概要	1/1000			
A-07	仕上表・概略工事工程表	-	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	-
A-08	平面図(1)	1/200	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	-
A-09	平面図(2)	1/200	E-03	電気設備 1・2階改修図	1/200
A-10	改修前・改修後 南側立面図	1/200	E-04	電気設備 東・南側立面図	1/200
A-11	改修前・改修後 北側立面図	1/200	E-05	電気設備 西・北側立面図	1/200
A-12	改修前・改修後 東・西側立面図	1/200			
A-13	断面詳細図(1)	1/50	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	-
A-14	断面詳細図(2)	1/50	M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	-
A-15	改修前 建具配置図	1/200	M-03	機械設備 1・2階改修図	1/200
A-16	改修前 建具表(1)	1/50	M-04	機械設備 北・南側立面図	1/200
A-17	改修前 建具表(2)	1/50			
A-18	改修前 建具表(3)	1/50			



CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事
DRAWING NAME	タイトル・図面リスト

**コダニ建築環境設計(有)**  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE
-	R7/10
PROJECT NO	DRAWING NO
	A-00

DRAWING BY	CHECKED BY



3 防水改修工事

Table with 3 columns: 既存下地の処理, アスファルト防水, 改質アスファルト防水. Includes details on repair methods, materials, and testing procedures.

Table with 3 columns: 改質アスファルトシート, 合成高分子ルーフィングシート防水, 防水層の種類. Includes material specifications and construction details.

Table with 3 columns: シーリング, アルミニウム製窓木, 窓膜防水. Includes details on sealing, window frames, and window film.

Table with 3 columns: 防水改修フロー及び数量, 外壁改修工事(共通事項), ポリマーセメント, パテ状エポキシ樹脂. Includes flowcharts, general items, and repair materials.



Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 4: External wall repair work (concrete pouring). Item 5: Polymer cement slurry. Item 6: Water adjustment material. Item 7: Formwork for masonry.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: Wall repair work (tile replacement). Item 2: Wall repair work (tile replacement). Item 3: Wall repair work (tile replacement). Item 4: External wall repair work (tile replacement).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 4: Floating repair work. Item 5: Ground repair work. Item 6: External wall repair work (tile replacement). Item 1: Existing structure removal. Item 2: Ground adjustment. Item 3: Wall repair work (tile replacement).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 5: Building repair work. Item 1: Repair work. Item 2: Fire door. Item 3: Building appearance. Item 4: Fire prevention equipment. Item 5: Aluminum building materials. Item 6: Insects.

Main table with 10 columns (No., Name, Description, etc.) and 10 rows (7-19). Contains detailed technical specifications for building components like windows, doors, and structural elements.

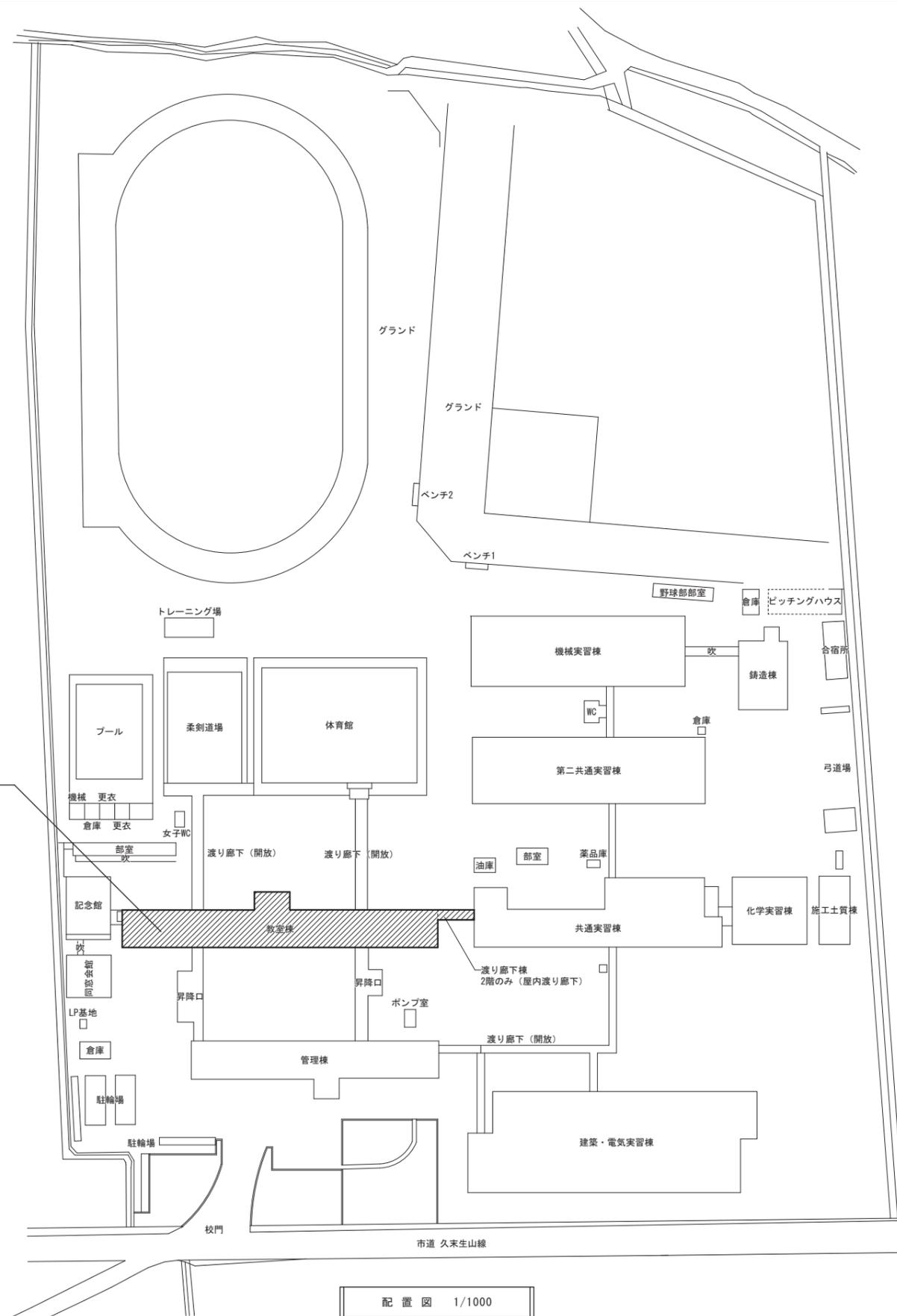


Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: Material (セメント, 砂, etc.). Item 2: Underlayment (下地調整). Item 3: Wall treatment (壁面処理). Item 4: Floor leveling (床面調整). Item 5: Wall leveling (壁面調整). Item 6: Wall leveling (壁面調整). Item 7: Wall leveling (壁面調整). Item 8: Wall leveling (壁面調整). Item 9: Wall leveling (壁面調整). Item 10: Wall leveling (壁面調整).

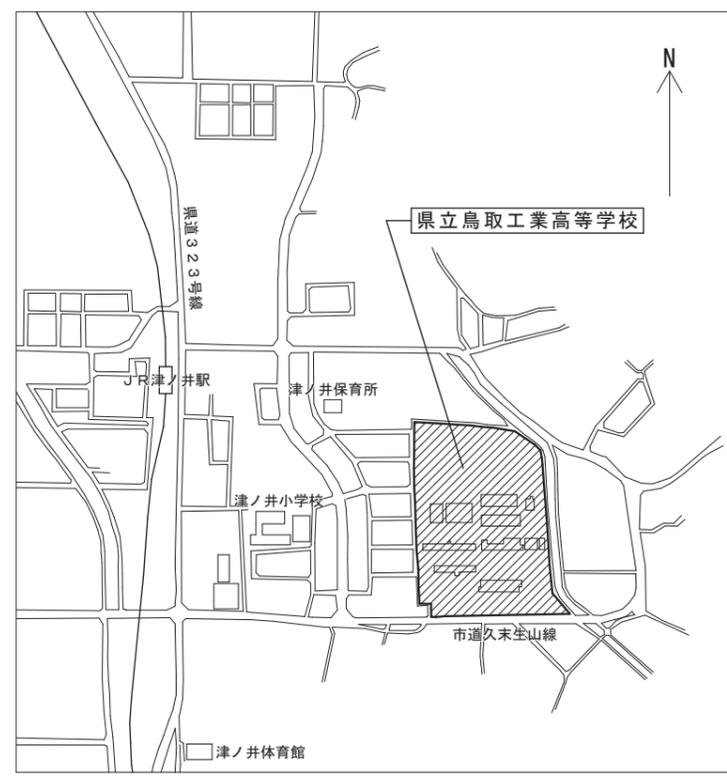
Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: Wall leveling (壁面調整). Item 2: Wall leveling (壁面調整). Item 3: Wall leveling (壁面調整). Item 4: Wall leveling (壁面調整). Item 5: Wall leveling (壁面調整). Item 6: Wall leveling (壁面調整). Item 7: Wall leveling (壁面調整). Item 8: Wall leveling (壁面調整). Item 9: Wall leveling (壁面調整). Item 10: Wall leveling (壁面調整).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: Reinforcement (鉄筋の種類). Item 2: Reinforcement (鉄筋の種類). Item 3: Reinforcement (鉄筋の種類). Item 4: Reinforcement (鉄筋の種類). Item 5: Reinforcement (鉄筋の種類). Item 6: Reinforcement (鉄筋の種類). Item 7: Reinforcement (鉄筋の種類). Item 8: Reinforcement (鉄筋の種類). Item 9: Reinforcement (鉄筋の種類). Item 10: Reinforcement (鉄筋の種類).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: Concrete (コンクリートの種類). Item 2: Concrete (コンクリートの種類). Item 3: Concrete (コンクリートの種類). Item 4: Concrete (コンクリートの種類). Item 5: Concrete (コンクリートの種類). Item 6: Concrete (コンクリートの種類). Item 7: Concrete (コンクリートの種類). Item 8: Concrete (コンクリートの種類). Item 9: Concrete (コンクリートの種類). Item 10: Concrete (コンクリートの種類).



配置図 1/1000



付近見取図

工事概要	
1. 工事名称	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事
2. 工事場所	鳥取市生山
3. 工事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年により劣化している教室棟及び渡り廊下棟の外壁等の劣化部及び仕上塗材の全面改修工事</li> <li>・外壁改修工事に伴う設備工事（配管支持金物の取外し再取付け等）</li> <li>・経年により老朽化している教室棟3階及び2階渡り廊下棟の外部建具改修工事（カバー工法、一部はつり撤去新設）</li> </ul>
特記事項	
1.	工事現場を仮囲い等により区画し、常に安全に留意し、施工に伴う災害及び事故の防止に努めること
2.	工事車両の通行に際しては、事故防止に努めること
3.	工事期間中は、作業環境の改善、工事現場の美化等に努めること
4.	工事中に周辺道路、建物、工作物等に損傷を与えた場合は、すみやかに監督員に報告すると共に、請負者の責任に於いて現況に復旧すること
5.	施設を利用しながらの工事となるため、施設管理者及び監督員と協議のうえ、工事工程計画、仮設計画等を行うこと
6.	外部建具改修範囲は、教室棟3階及び2階渡り廊下棟とする
7.	既存仕上塗材及び下地調整材にアスベストは非含有（分析調査済）
8.	エアコンは工事中も稼働できる状態とし、施工に支障のあるエアコンの室外機等は、工事前に移設し、工事完了後に元の位置に戻すこと
9.	施工に先立ち外壁の事前調査を行い報告書を監督員に提出し、協議のうえ改修工法・改修範囲を決定してから施工すること



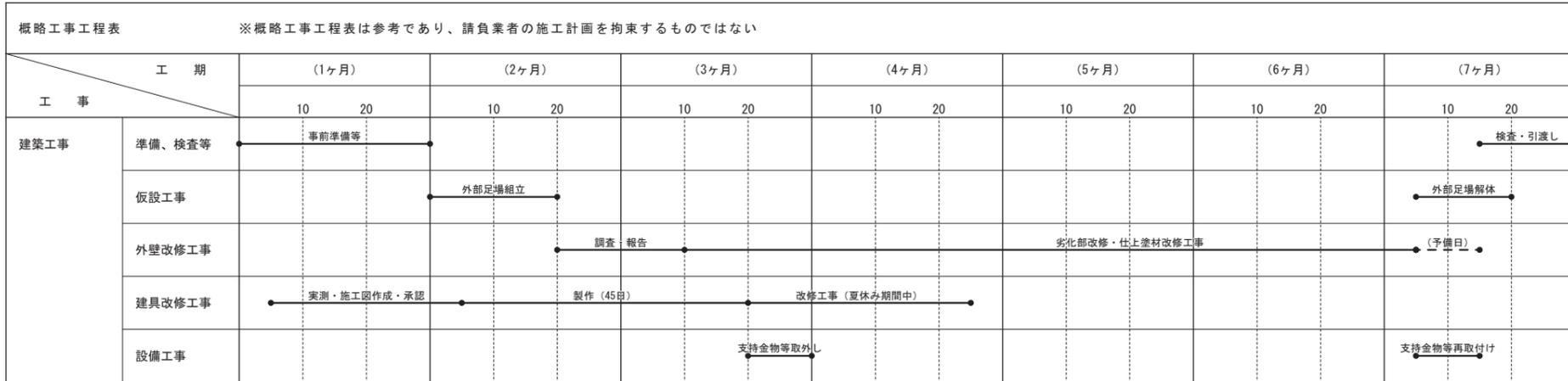
CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事
DRAWING NAME	付近見取図・配置図・工事概要

**コダニ建築環境設計(有)**  
 一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/1000	R7/10	河野	小谷
PROJECT NO	DRAWING NO		
	A-06		

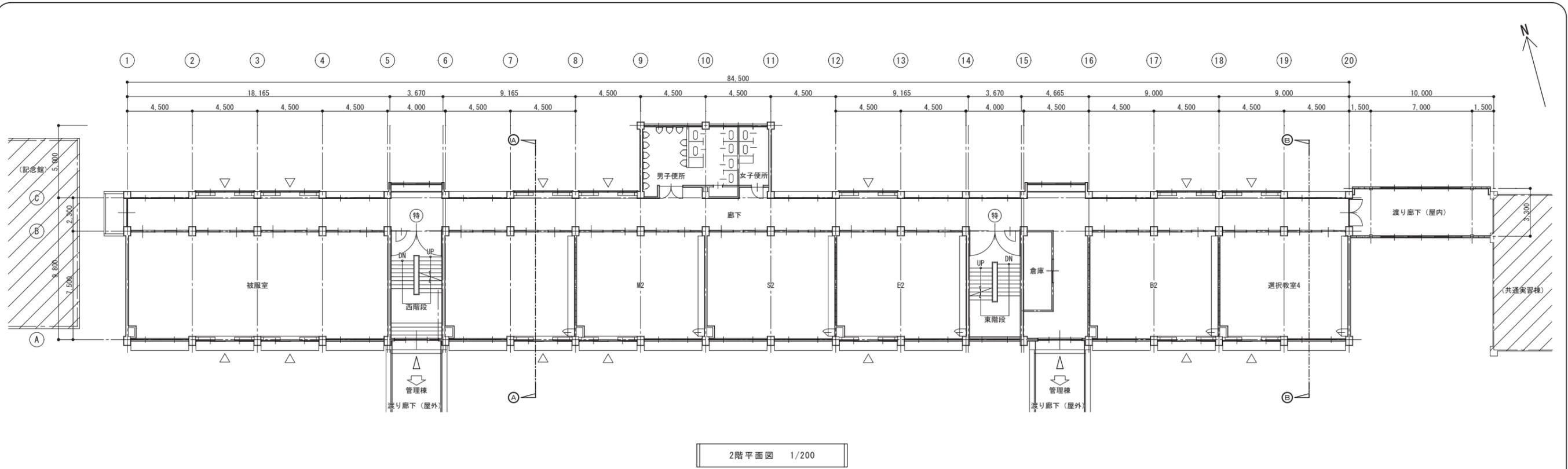
仕上表					
部位	改修別	改修内容	部位	改修別	改修内容
外壁 バラベツト 柱型	改修前	(教室棟) モルタル下地 リシン吹付 [除去]	基礎	改修前	モルタル金ゴテ押え [既存のまま]
	改修後	下地調整のうえ防水形複層塗材E [新設]		改修後	モルタル金ゴテ押え [既存のまま]
梁型	改修前	モルタル下地 リシン吹付 (梁天・梁底共) [除去]	外部建具	改修前	建具配置図・建具表参照 建具廻りシーリング [撤去]
	改修後	下地調整のうえ防水形複層塗材E (妻面: 梁天・梁底共) [新設]		改修後	建具配置図・建具表参照 建具廻りシーリング [新設]
軒天	改修前	(教室棟) モルタル下地 リシン吹付 [除去]	バルコニー	改修前	手摺壁: モルタル下地 リシン吹付 [除去] 手摺壁笠木・足掛笠木: 防水モルタル金ゴテ押え [既存のまま] バルコニー裏: コンクリート打放し リシン吹付 [除去]
	改修後	下地調整のうえ外装薄塗材E [新設]		改修後	手摺壁: 下地調整のうえ防水形複層塗材E [新設] 手摺壁笠木・足掛笠木: 下地調整のうえウレタン塗膜防水 (X-2) [新設] バルコニー裏: 下地調整のうえ外装薄塗材E [新設]
面台	改修前	防水モルタル金ゴテ押え [既存のまま]	その他		(教室棟) 堅樋: 既存のまま 屋上煙突: 既存のまま バルコニー手摺: DP塗り塗替え 一部 金属板葺き屋根: 既存のまま  その他記載なき部分: 既存のまま
	改修後	下地調整のうえウレタン塗膜防水 (X-2) [新設]			(渡り廊下棟) 軒樋: 既存のまま 鉄部: 既存のまま 手摺: DP塗り塗替え
庇	改修前	防水モルタル金ゴテ押え (庇鼻・側面共) [既存のまま] 庇裏: モルタル下地 リシン吹付 [除去]			
	改修後	下地調整のうえウレタン塗膜防水 (X-2) (庇鼻・側面共) [新設] 庇裏: 下地調整のうえ外装薄塗材E [新設]			

共通事項	全面高圧水洗 (30~50MPa程度) (基礎含む) 事前調査及び劣化部補修 (基礎含む)				
劣化部改修工法	<コンクリート打放し面> ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm以下): 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ひび割れ (幅1.0mm超): Uカットシーリング材充填工法 欠損 (浅い欠損): ポリマーセメントモルタル充填工法 欠損 (爆裂・露筋): エポキシ樹脂モルタル充填工法	<モルタル面 (RC造)> ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm以下): 樹脂注入工法 ひび割れ (幅1.0mm超): Uカットシーリング材充填工法 欠損 (浅い欠損): ポリマーセメントモルタル充填工法 欠損 (爆裂・露筋): エポキシ樹脂モルタル充填工法 浮き (0.25m未満): 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 浮き (0.25m以上): 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	<モルタル面 (S造)> ひび割れ (幅0.2mm以上1.0mm以下): 樹脂注入工法 ひび割れ (幅1.0mm超): Uカットシーリング材充填工法 欠損 (浅い欠損): ポリマーセメントモルタル充填工法 欠損 (爆裂・露筋): エポキシ樹脂モルタル充填工法 浮き (0.25m未満): モルタル充填工法 浮き (0.25m以上): モルタル塗替え工法		

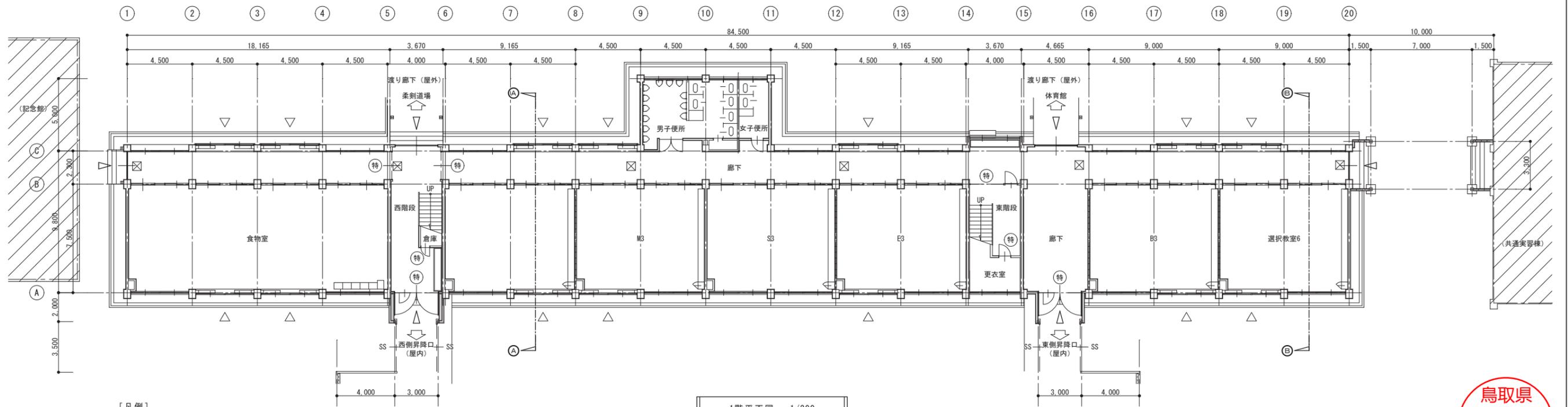


CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事	 <b>コダニ建築環境設計(有)</b> 一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号	SCALE	-	DATE	R7/10	DRAWING BY		CHECKED BY	
DRAWING NAME	仕上表・概略工事工程表		PROJECT NO		DRAWING NO					
					A-07					





2階平面図 1/200



1階平面図 1/200

[凡例]

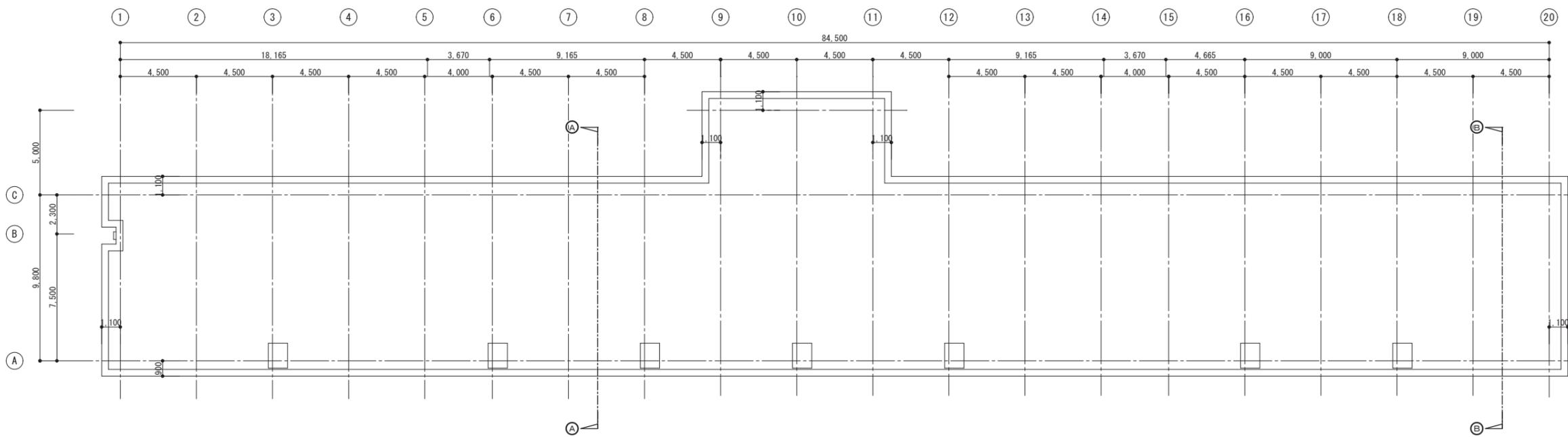
△	耐震BR設置部
○特	特定防火設備



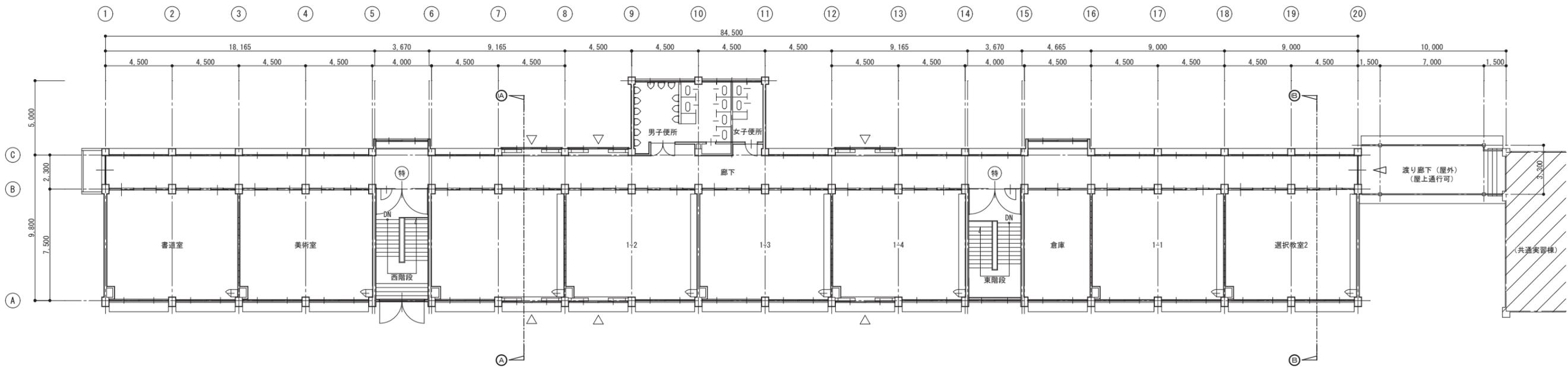
CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 平面図(1)

コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE 1/200	DATE R7/10	DRAWING BY 河野	CHECKED BY 小谷
PROJECT NO	DRAWING NO A-08		



屋上平面図 1/200



[凡例]

△	耐震BR設置部
○特	特定防火設備

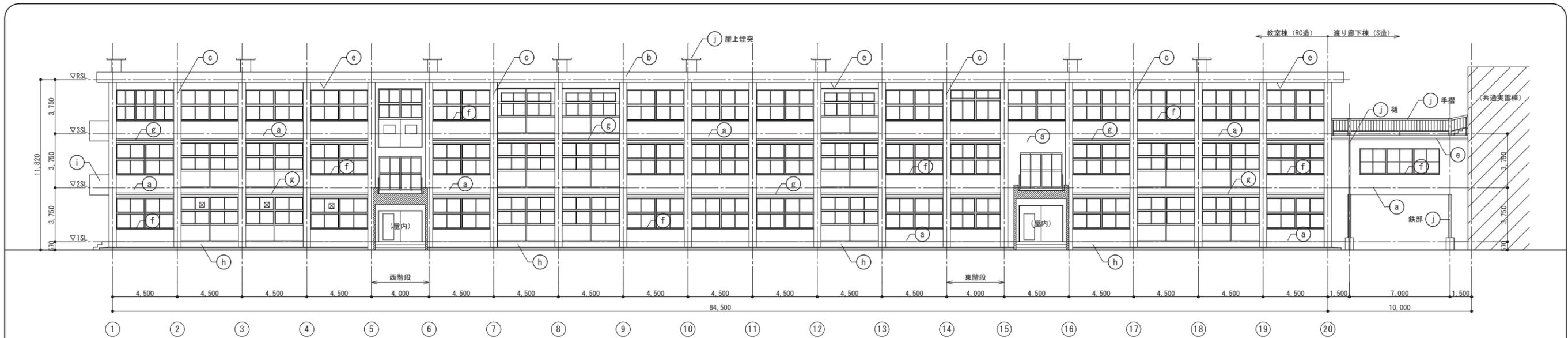
3階平面図 1/200



CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事
DRAWING NAME	平面図(2)

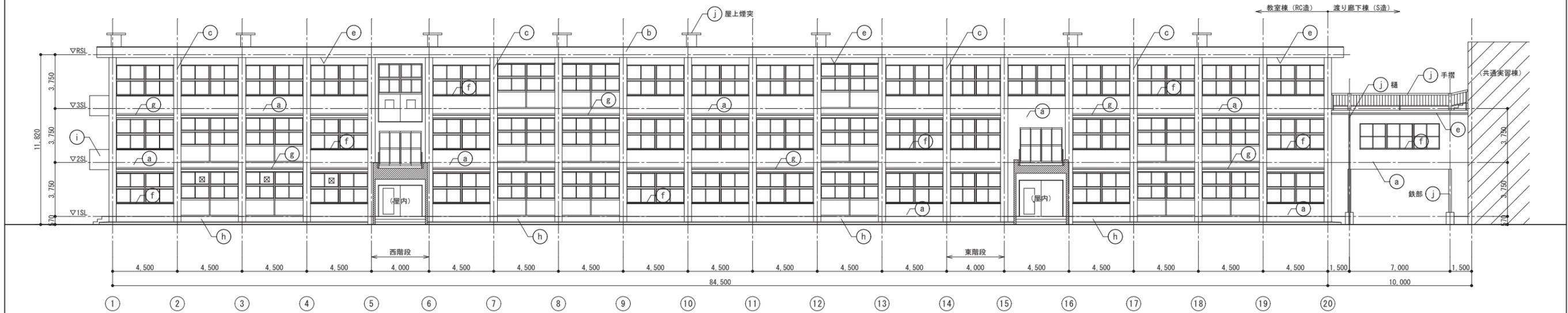
**コダニ建築環境設計(有)**  
 一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/200	R7/10	河野	小谷
PROJECT NO	DRAWING NO		
	A-09		



改修後 南側立面図 1/200

(a) (教室棟) 外壁: 下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】	(渡り廊下棟) 外壁: 下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】	(f) 面台: 下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】	(j) (教室棟) 縦樋: 既存のまま 屋上煙突: 既存のまま バルコニー手摺: DP塗り 金属板葺き屋根: 既存のまま	(渡り廊下棟) 軒樋・縦樋: 既存のまま 鉄部: 既存のまま 手摺: DP塗り
(b) パラベットの: 下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】	(g) 庇: 下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)(庇鼻・側面共)【新設】	(h) 基礎: モルタル金ゴテ押え【既存のまま】	(i) 手摺壁: 下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】 手摺壁笠木・足掛笠木: 下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】 バルコニー裏: 下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】	外部建具 外部建具改修範囲は、教室棟3階及び2階渡り廊下棟とする
(c) 柱型: 下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】	(i) 手摺壁: 下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】 手摺壁笠木・足掛笠木: 下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】 バルコニー裏: 下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】			
(d) 梁型: 下地調整のうえ防水形複層塗材E(表面: 梁天・梁底共)【新設】				
(e) (教室棟) 軒天: 下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】	(渡り廊下棟) 軒天: 下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】 軒鼻: 下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】			



改修前 南側立面図 1/200

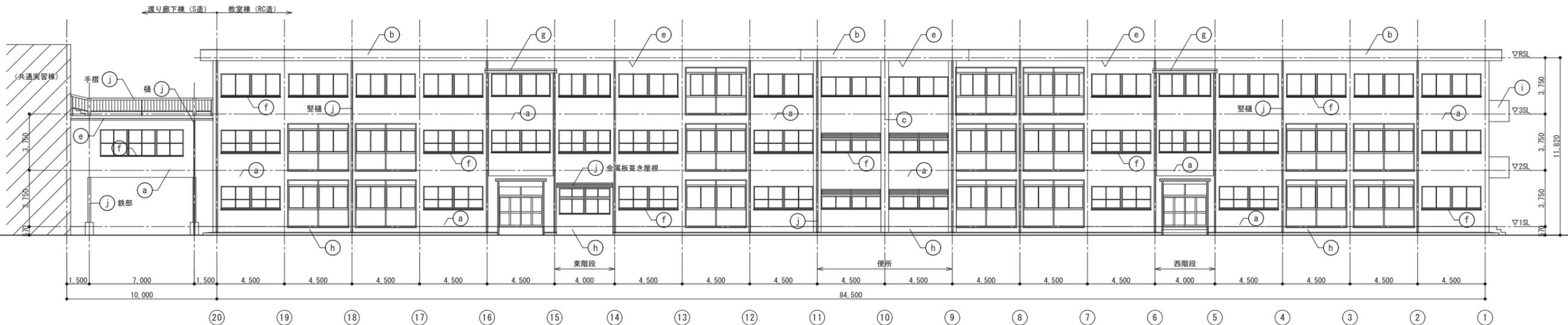
(a) (教室棟) 外壁: モルタル下地 リシン吹付【除去】	(渡り廊下棟) 外壁: リプラスモルタル下地 リシン吹付【除去】	(f) 面台: 防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】	(j) (教室棟) 縦樋: 既存のまま 屋上煙突: 既存のまま バルコニー手摺: SOP塗り 金属板葺き屋根: 既存のまま	(渡り廊下棟) 軒樋・縦樋: 既存のまま 鉄部: 既存のまま 手摺: SOP塗り	劣化部改修工法 (打放し面・モルタル面)	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm以下): 樹脂注入工法	33.8 m	庇・面台・軒天(全面)	17.8 m
(b) パラベットの: モルタル下地 リシン吹付【除去】	(g) 庇: 防水モルタル金ゴテ押え(庇鼻・側面共)【既存のまま】	(h) 基礎: モルタル金ゴテ押え【既存のまま】	(i) 手摺壁: モルタル下地 リシン吹付【除去】 手摺壁笠木・足掛笠木: 防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 バルコニー裏: コンクリート打放し リシン吹付【除去】	外部建具 外部建具改修範囲は、教室棟3階及び2階渡り廊下棟とする	ひび割れ(幅1.0mm超): Uカットシール材充填工法	1.0 m	-	-	-
(c) 柱型: モルタル下地 リシン吹付【除去】	(i) 手摺壁: モルタル下地 リシン吹付【除去】 手摺壁笠木・足掛笠木: 防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 バルコニー裏: コンクリート打放し リシン吹付【除去】			共通事項 既存塗材除去後、劣化部補修	欠損(浅い欠損): ポリマーセメントモルタル充填工法	0.02 m <sup>2</sup>	-	-	-
(d) 梁型: モルタル下地 リシン吹付(表面: 梁天・梁底共)【除去】					欠損(爆裂・露筋): エポキシ樹脂モルタル充填工法	0.04 m <sup>2</sup>	-	-	-
(e) (教室棟) 軒天: モルタル下地 リシン吹付【除去】	(渡り廊下棟) 軒天: リプラスモルタル下地 リシン吹付【除去】 軒鼻: 防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】				浮き(0.25m未満): 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	2.2 m <sup>2</sup>	2.9 m <sup>2</sup>	2.9 m <sup>2</sup>	2.9 m <sup>2</sup>

CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 改修前・改修後 南側立面図

コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

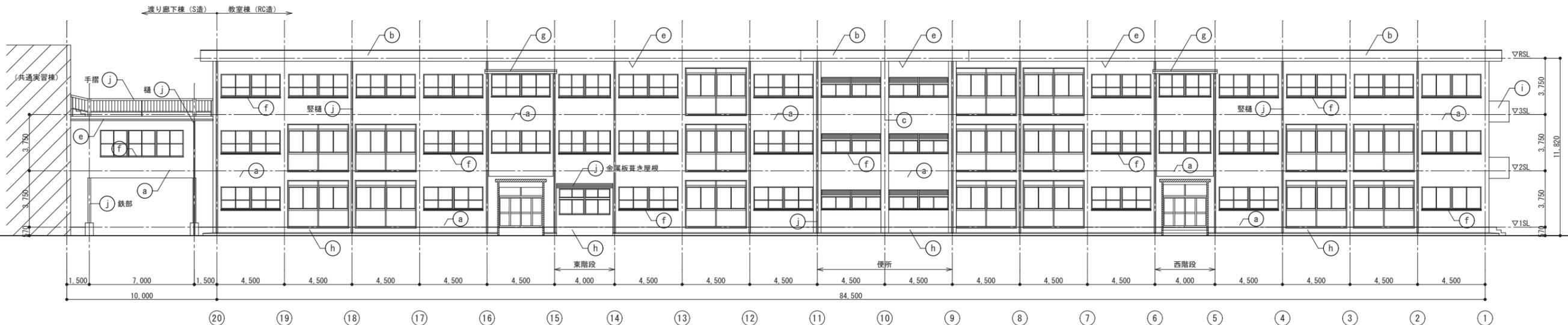
SCALE 1/200  
DATE R7/10  
PROJECT NO  
DRAWING NO A-10  
DRAWING BY 河野 小谷

鳥取県  
令和7年度  
J-25-00249  
単独建築住宅  
事務所



改修後 北側平面図 1/200

a	(教室棟) 外壁：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】	(渡り廊下棟) 外壁：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】	f	面台：下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】	j	(教室棟) 縦樋：既存のまま 屋上煙突：既存のまま バルコニー手摺：DP塗り 金属板葺き屋根：既存のまま	(渡り廊下棟) 軒樋・縦樋：既存のまま 鉄部：既存のまま 手摺：DP塗り		
b	パラベット：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】		g	庇：下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)(庇鼻・側面共)【新設】 底裏：下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】					
c	柱型：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】		h	基礎：モルタル金ゴテ押え【既存のまま】					
d	梁型：下地調整のうえ防水形複層塗材E(表面：梁天・梁底共)【新設】		i	手摺壁：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】 手摺壁笠木・足掛笠木：下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】 バルコニー裏：下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】	外部建具	外部建具改修範囲は、教室棟3階及び2階渡り廊下棟とする			
e	(教室棟) 軒天：下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】	(渡り廊下棟) 軒天：下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】 軒鼻：下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】							



改修前 北側平面図 1/200

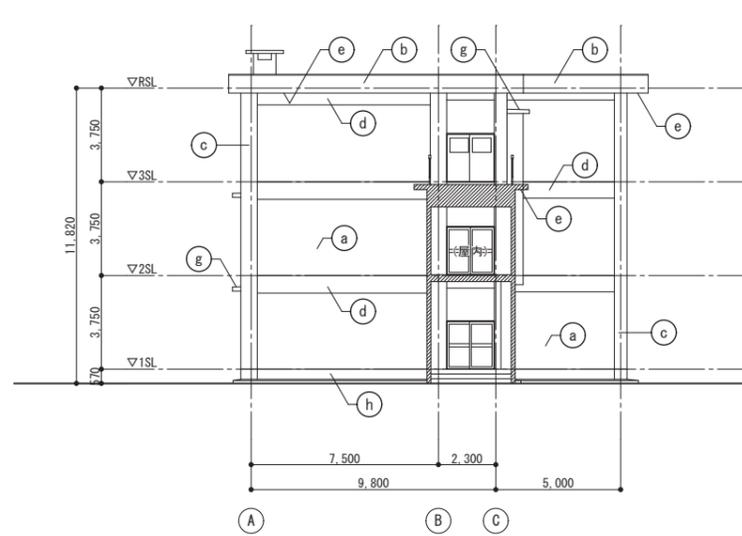
a	(教室棟) 外壁：モルタル下地 リシン吹付【除去】	(渡り廊下棟) 外壁：リプラスモルタル下地 リシン吹付【除去】	f	面台：防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】	j	(教室棟) 縦樋：既存のまま 屋上煙突：既存のまま バルコニー手摺：SOP塗り 金属板葺き屋根：既存のまま	(渡り廊下棟) 軒樋・縦樋：既存のまま 鉄部：既存のまま 手摺：SOP塗り	劣化部改修工法 (打放し面・モルタル面)	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm以下)：樹脂注入工法	9.5 m	
b	パラベット：モルタル下地 リシン吹付【除去】		g	庇：防水モルタル金ゴテ押え(庇鼻・側面共)【既存のまま】 底裏：モルタル下地 リシン吹付【除去】					ひび割れ(幅1.0mm超)：Uカットシール材充填工法	2.2 m	
c	柱型：モルタル下地 リシン吹付【除去】		h	基礎：モルタル金ゴテ押え【既存のまま】					欠損(浅い欠損)：ポリマーセメントモルタル充填工法		
d	梁型：モルタル下地 リシン吹付(表面：梁天・梁底共)【除去】		i	手摺壁：モルタル下地 リシン吹付【除去】 手摺壁笠木・足掛笠木：防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 バルコニー裏：コンクリート打放し リシン吹付【除去】	外部建具	外部建具改修範囲は、教室棟3階及び2階渡り廊下棟とする			欠損(爆裂・露筋)：エポキシ樹脂モルタル充填工法	0.05 m <sup>2</sup>	
e	(教室棟) 軒天：モルタル下地 リシン吹付【除去】	(渡り廊下棟) 軒天：リプラスモルタル下地 リシン吹付【除去】 軒鼻：防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】			共通事項	既存塗材除去後、劣化部補修			浮き(0.25m未満)：注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	10.4 m <sup>2</sup>	
										浮き(0.25m以上)：注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	1250.0249

CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事
DRAWING NAME	改修前・改修後 北側立面図

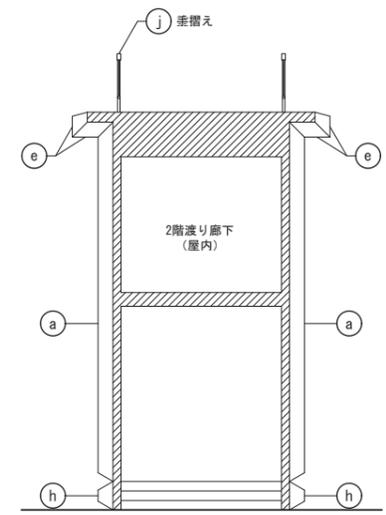
コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY
1/200	R7/10	河野
PROJECT NO	DRAWING NO	小谷
	A-11	

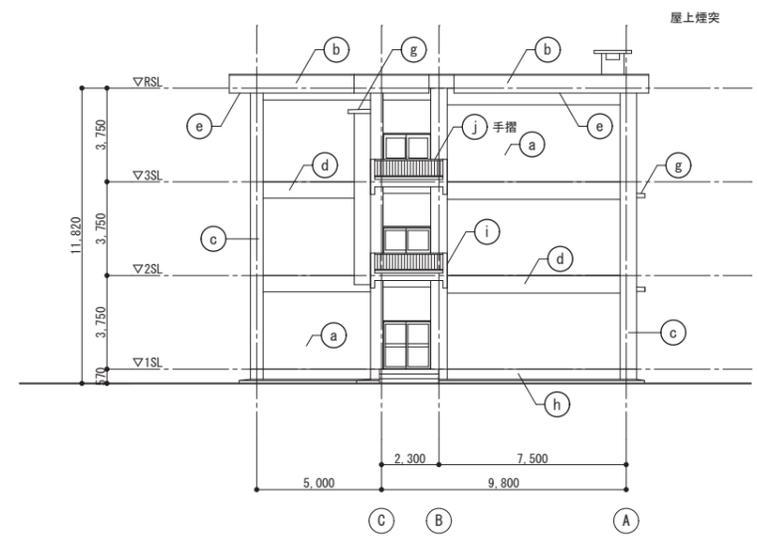




改修後 東側平面図 1/200

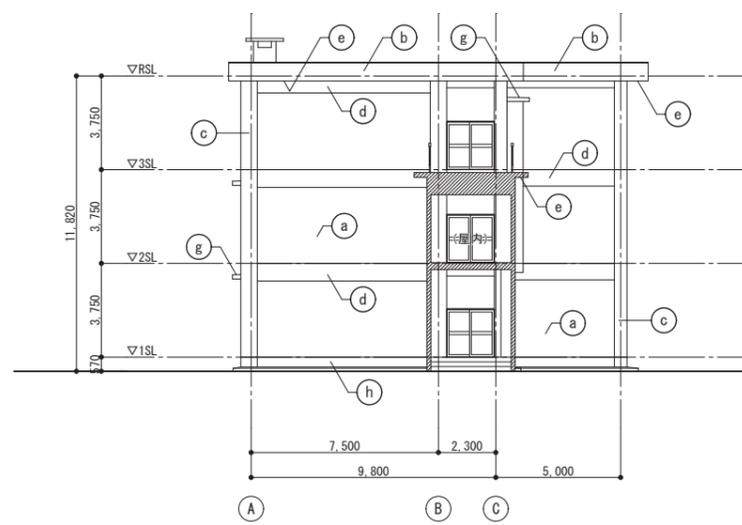


渡り廊下棟 1/100

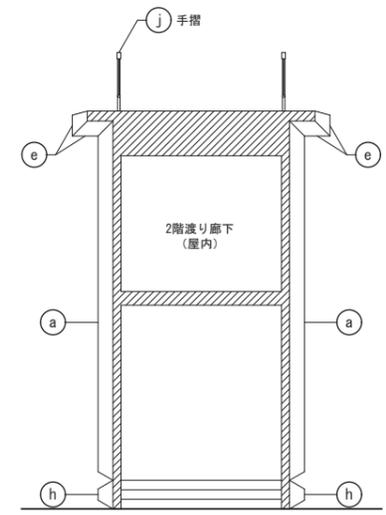


改修後 西側平面図 1/200

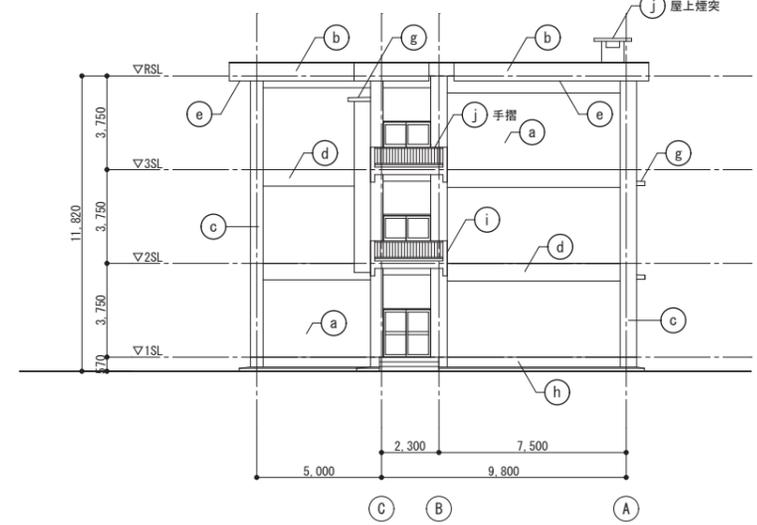
a	(教室棟) 外壁：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】	(渡り廊下棟) 外壁：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】	f	面台：下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】	j	(教室棟) 縦樋：既存のまま 屋上煙突：既存のまま バルコニー手摺：DP塗り 金属板葺き屋根：既存のまま	(渡り廊下棟) 軒樋・縦樋：既存のまま 鉄部：既存のまま 手摺：DP塗り		
b	パラベット：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】		g	庇：下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)(庇鼻・側面共)【新設】					
c	柱型：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】		h	基礎：モルタル金ゴテ押え【既存のまま】					
d	梁型：下地調整のうえ防水形複層塗材E(表面：梁天・梁底共)【新設】		i	手摺壁：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】 手摺壁笠木・足掛笠木：下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】 バルコニー裏：下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】	外部建具	外部建具改修範囲は、教室棟3階及び2階渡り廊下棟とする			
e	(教室棟) 軒天：下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】	(渡り廊下棟) 軒天：下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】 軒鼻：下地調整のうえウレタン塗膜防水(X-2)【新設】							



改修前 東側平面図 1/200



渡り廊下棟 1/100



改修前 西側平面図 1/200

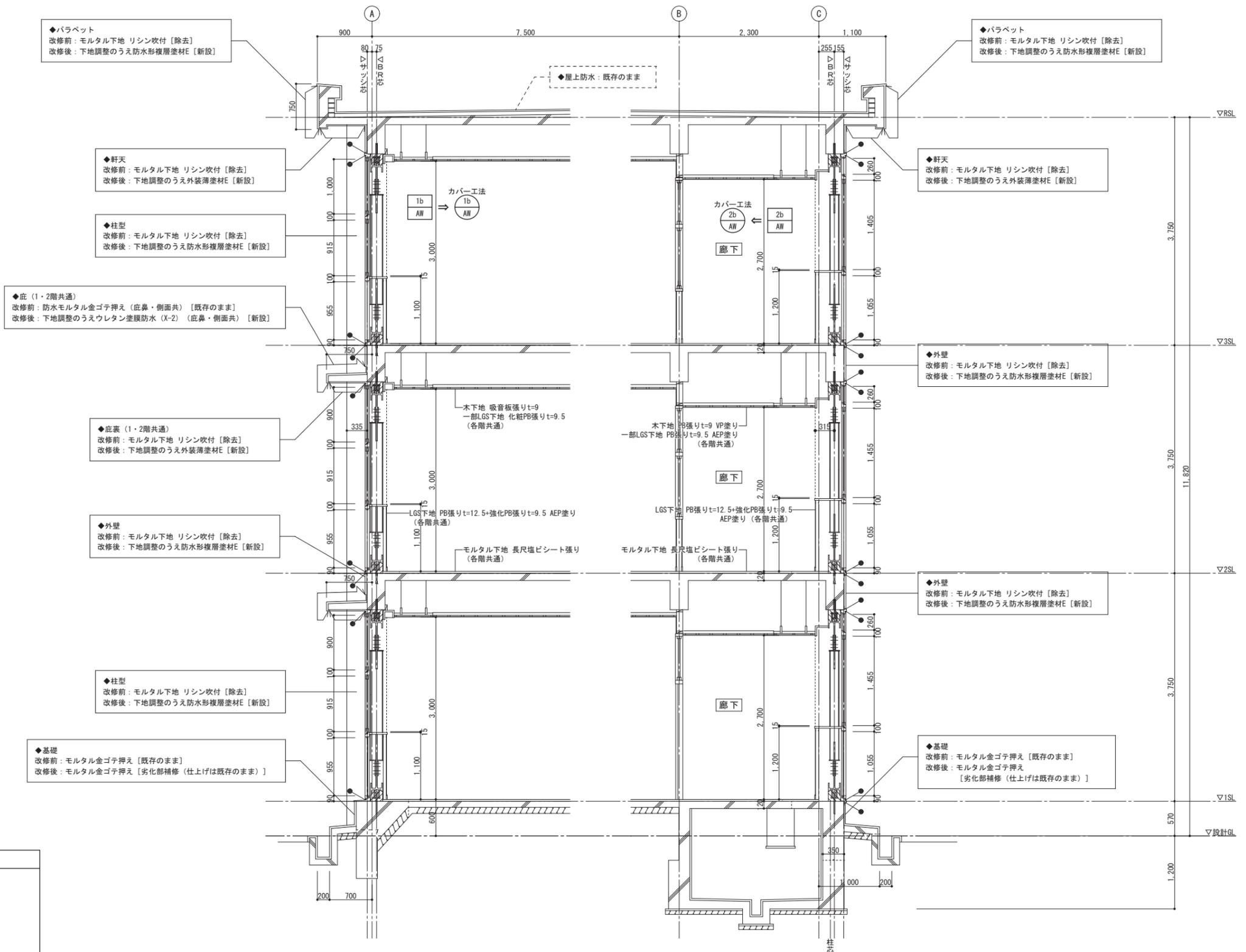
a	(教室棟) 外壁：モルタル下地 リシン吹付【除去】	(渡り廊下棟) 外壁：リプラスモルタル下地 リシン吹付【除去】	f	面台：防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】	j	(教室棟) 縦樋：既存のまま 屋上煙突：既存のまま バルコニー手摺：SOP塗り 金属板葺き屋根：既存のまま	(渡り廊下棟) 軒樋・縦樋：既存のまま 鉄部：既存のまま 手摺：SOP塗り	劣化部改修工法 (打放し面・モルタル面)	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm以下)：樹脂注入工法	7.2 m
b	パラベット：モルタル下地 リシン吹付【除去】		g	庇：防水モルタル金ゴテ押え(庇鼻・側面共)【既存のまま】					ひび割れ(幅1.0mm超)：Uカットシール材充填工法	0.5 m
c	柱型：モルタル下地 リシン吹付【除去】		h	基礎：モルタル金ゴテ押え【既存のまま】					欠損(浅い欠損)：ポリマーセメントモルタル充填工法	
d	梁型：モルタル下地 リシン吹付(表面：梁天・梁底共)【除去】		i	手摺壁：モルタル下地 リシン吹付【除去】 手摺壁笠木・足掛笠木：防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 バルコニー裏：コンクリート打放し リシン吹付【除去】	外部建具	外部建具改修範囲は、教室棟3階及び2階渡り廊下棟とする			欠損(爆裂・露筋)：エポキシ樹脂モルタル充填工法	
e	(教室棟) 軒天：モルタル下地 リシン吹付【除去】	(渡り廊下棟) 軒天：リプラスモルタル下地 リシン吹付【除去】 軒鼻：防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】			共通事項	既存塗材除去後、劣化部補修			浮き(0.25m未満)：注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	
									浮き(0.25m以上)：注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	

CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 改修前・改修後 東・西側立面図

コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE 1/200  
PROJECT NO  
DATE R7/10  
DRAWING NO A-12  
DRAWING BY 河野  
CHECKED BY 小谷





A-A断面詳細図 1/30

- 特記事項
1. 既存塗材除去後、劣化部補修を行うこと
  2. 基礎は、事前調査・劣化部補修までとする
  3. 教室棟の外部建具改修範囲は、3階のみとする

- 凡例
- シーリング充填工法 (MS-2) (改修サッシ廻り)
  - シーリング再充填工法 (MS-2)

CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事

DRAWING NAME 断面詳細図 (1)

コダニ建築環境設計(有)

一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/50	R7/10	河野	小谷
PROJECT NO	DRAWING NO		
	A-13		



◆パラベット  
改修前：モルタル下地 リシン吹付【除去】  
改修後：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】

◆軒天  
改修前：モルタル下地 リシン吹付【除去】  
改修後：下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】

◆柱型  
改修前：モルタル下地 リシン吹付【除去】  
改修後：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】

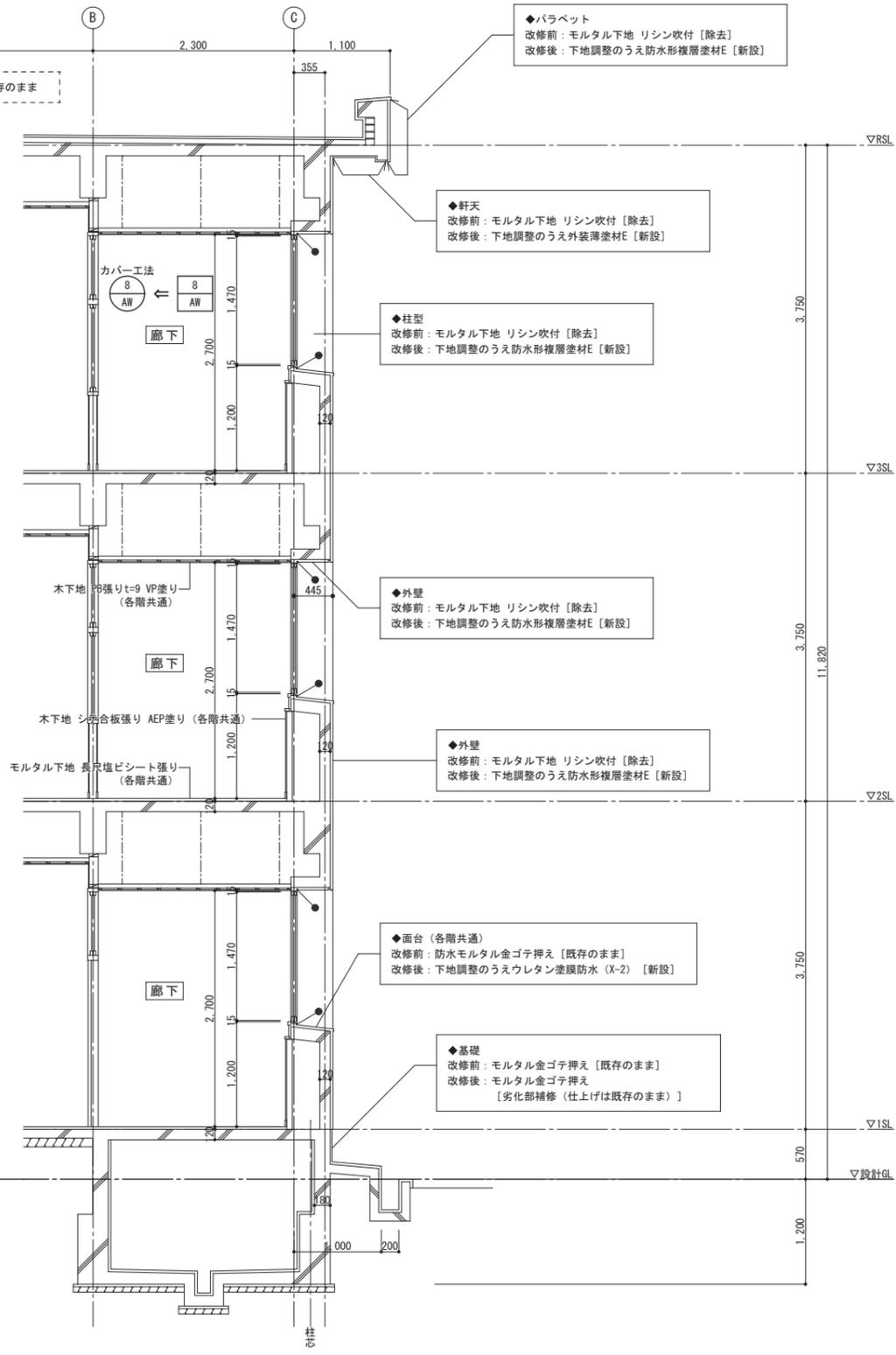
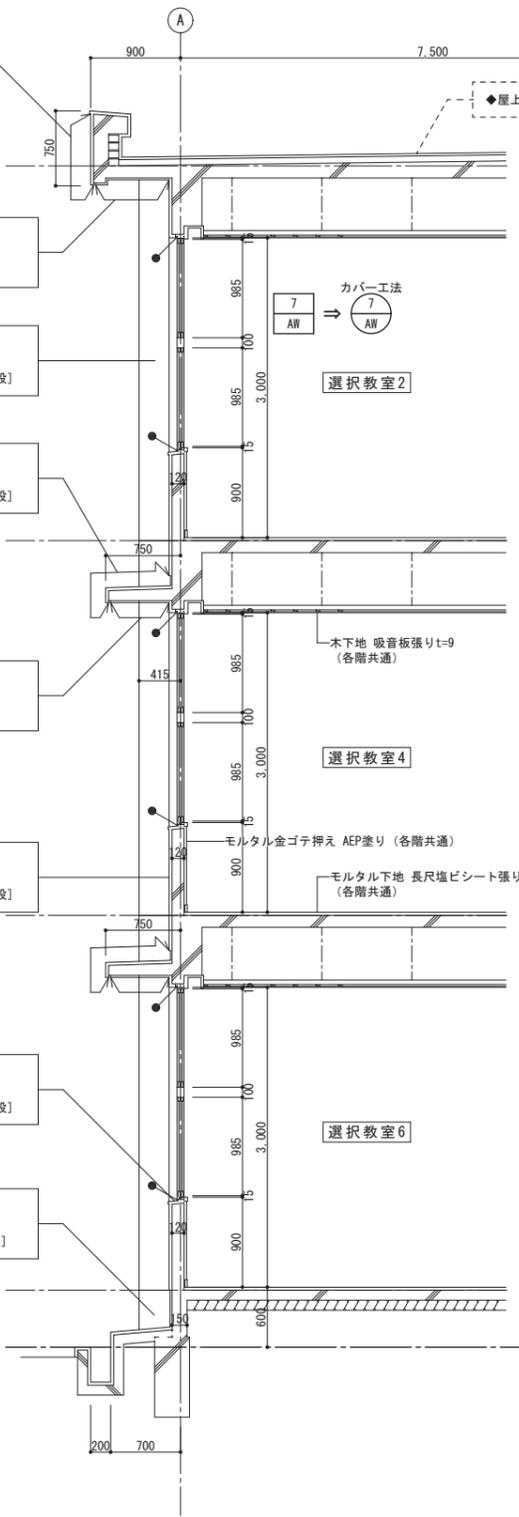
◆庇（1・2階共通）  
改修前：防水モルタル金ゴテ押え（庇鼻・側面共）【既存のまま】  
改修後：下地調整のうえウレタン塗膜防水（X-2）（庇鼻・側面共）【新設】

◆庇裏（1・2階共通）  
改修前：モルタル下地 リシン吹付【除去】  
改修後：下地調整のうえ外装薄塗材E【新設】

◆外壁  
改修前：モルタル下地 リシン吹付【除去】  
改修後：下地調整のうえ防水形複層塗材E【新設】

◆面台（各階共通）  
改修前：防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】  
改修後：下地調整のうえウレタン塗膜防水（X-2）【新設】

◆基礎  
改修前：モルタル金ゴテ押え【既存のまま】  
改修後：モルタル金ゴテ押え【劣化部補修（仕上げは既存のまま）】



B-B断面詳細図 1/30

- 特記事項
1. 既存塗材除去後、劣化部補修を行うこと
  2. 基礎は、事前調査・劣化部補修までとする
  3. 教室棟の外部建具改修範囲は、3階のみとする

凡例

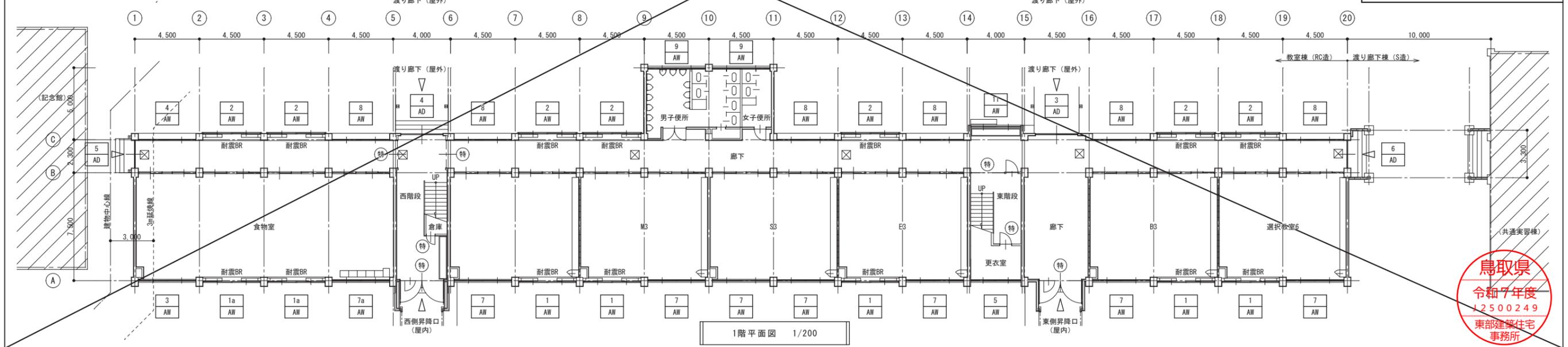
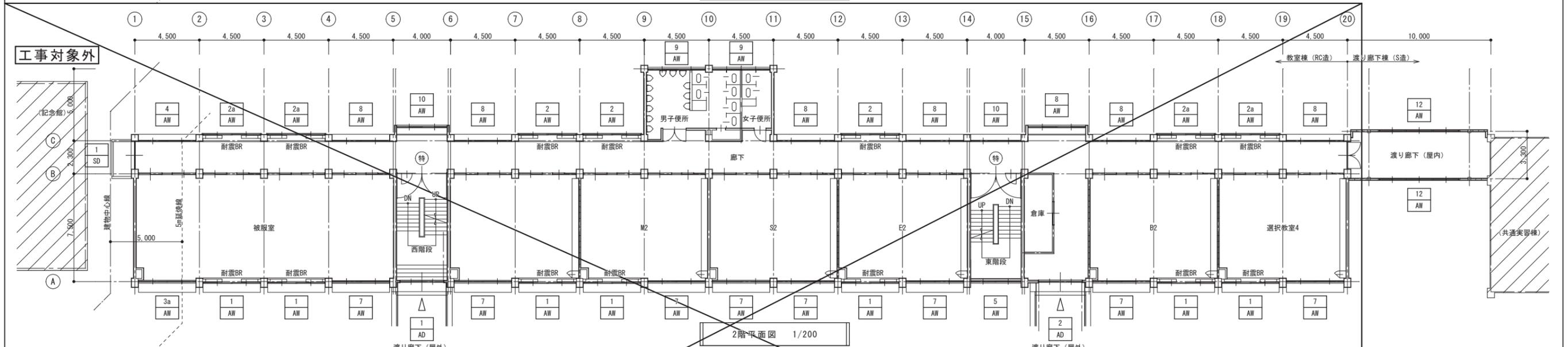
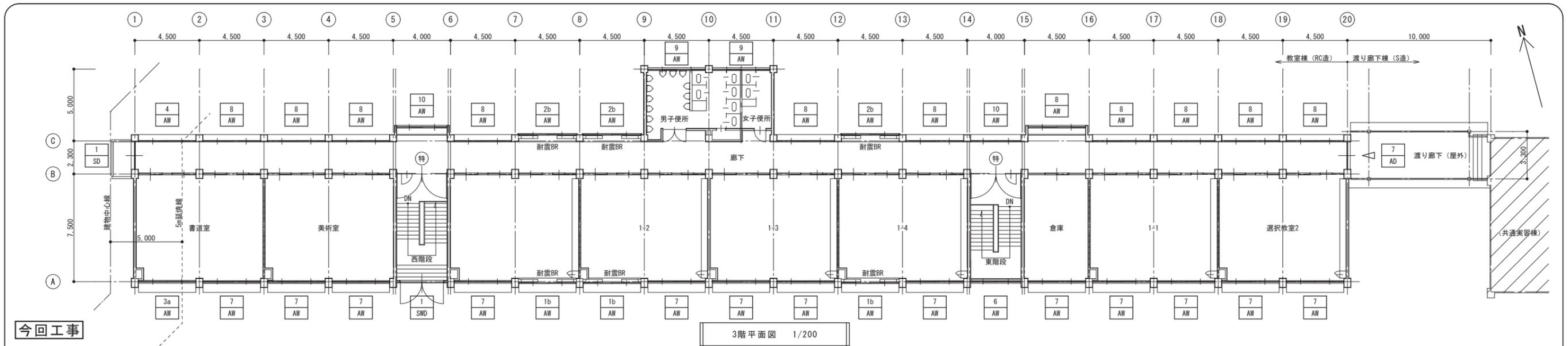
○	シーリング充填工法（MS-2）（改修サッシ廻り）
●	シーリング再充填工法（MS-2）

CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事
DRAWING NAME	断面詳細図（2）

コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	
1/50	R7/10	河野	
PROJECT NO	DRAWING NO	小谷	
	A-14		





今回工事

工事対象外

CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 改修前 建具配置図

コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/200	R7/10	河野	小谷
PROJECT NO	DRAWING NO		
	A-15		

鳥取県  
令和7年度  
12500249  
東部建築住宅  
事務所

記号・数量	1 南面				1a 南面				2 北面				2a 北面			
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
	箇所	5	7	3	箇所	2	-	3	箇所	7	3	3	箇所	-	4	3
形状・寸法																
形式・見込	腰パネル付2連2段引違い窓				腰パネル付2連2段引違い窓				腰パネル付2連引違い窓				腰パネル付2連引違い窓			
材料・仕上	アルミ(シルバー) ALC枠				アルミ(シルバー) ALC枠				アルミ(シルバー) ALC枠				アルミ(シルバー) ALC枠			
硝子	上部: 型板4 下部: スクールテンバ4				上部: 型板4 下部: スクールテンバ4				スクールテンバ4				スクールテンバ4			
金物	付属金物一式 アルミ水切 アルミパネル 1階アルミパネル部のみPB t=12.5裏張り				付属金物一式 アルミ水切 アルミパネル 1階アルミパネル部のみPB t=12.5裏張り				付属金物一式 アルミ水切 アルミパネル 1階アルミパネル部のみPB t=12.5裏張り				付属金物一式 アルミ水切 アルミパネル			
備考	H21年に改修				H21年に改修				H21年に改修				H21年に改修			
記号・数量	3 南面				3a 南面				4 北面				5 南面			
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
	箇所	1	-	1	箇所	1	-	1	箇所	1	-	1	箇所	1	1	1
形状・寸法																
形式・見込	2連2段引違い窓				2連2段引違い窓				2連引違い窓				2連2段引違い窓			
材料・仕上	アルミ(シルバー)				アルミ(シルバー)				アルミ(シルバー)				アルミ(シルバー)			
硝子	上部: 網入り型板6.8、型板4 下部: 網入り透明6.8、スクールテンバ4				上部: 網入り型板6.8 下部: 網入り透明6.8				網入り透明6.8				網入り透明6.8			
金物	付属金物一式				付属金物一式				付属金物一式				付属金物一式			
備考	H21年にカバー工法により改修				H21年にカバー工法により改修				H21年にカバー工法により改修				H21年にカバー工法により改修			
記号・数量	6 南面				7 南面				7a 南面				8 北面			
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
	箇所	-	-	1	箇所	7	8	13	箇所	1	-	-	箇所	6	7	11
形状・寸法																
形式・見込	2連2段引違い窓				2連2段引違い窓				2連2段引違い窓				2連引違い窓			
材料・仕上	アルミ				アルミ				アルミ				アルミ			
硝子	上部: 網入り型板6.8 中央部: 透明3				上部: スリ3 下部: 透明3				上部: スリ3 下部: 透明3				透明3			
金物	付属金物一式				付属金物一式				付属金物一式 アルミパネル				付属金物一式			
備考																

CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 改修前 建具表(1)

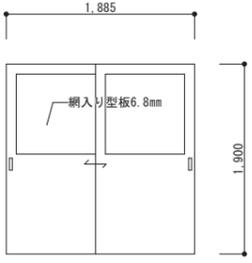
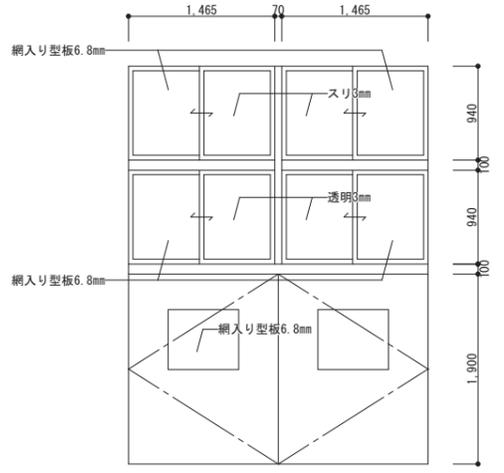
コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE 1/50  
DATE R7/10  
DRAWING NO A-16  
DRAWING BY 河野  
CHECKED BY 小谷



記号・数量	9 AW 北面				10 AW 北面				11 AW 北面				12 AW 南面・北面			
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
	箇所	2	2	2	箇所	2	2	2	箇所	1	-	-	箇所	-	2	-
形状・寸法																
形式・見込	ガラリ付2連引違い窓 70				2連引違い窓 70				2連引違い窓 70				3連引違い窓 70			
材料・仕上	アルミ				アルミ				アルミ				アルミ			
硝子	スリ3				透明3				透明3				透明3			
金物	付属金物一式 ガラリ				付属金物一式				付属金物一式				付属金物一式			
備考									改修 (改修年度不明)							
記号・数量	1 AD 南面				2 AD 南面				3 AD 北面				4 AD 北面			
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
	箇所	-	1	-	箇所	-	1	-	箇所	1	-	-	箇所	1	-	-
形状・寸法																
形式・見込	引違い戸 (4枚建) 70				引違い戸 (4枚建) 70				ランマ付引違い戸 (2枚建) 70				ランマ付引違い戸 (2枚建) 70			
材料・仕上	アルミ				アルミ				アルミ				アルミ			
硝子	網入り透明6.8				網入り透明6.8				網入り型板6.8				網入り型板6.8			
金物	付属金物一式 アルミパネル				付属金物一式 アルミパネル				付属金物一式 アルミパネル				付属金物一式 アルミパネル			
備考	カバー工法により改修 (改修年度不明)				カバー工法により改修 (改修年度不明)				カバー工法により改修 (改修年度不明)				カバー工法により改修 (改修年度不明)			
記号・数量	5 AD 西面				6 AD 東面				7 AD 東面							
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
	箇所	1	-	-	箇所	1	-	-	箇所	1	-	-	箇所	-	-	1
形状・寸法																
形式・見込	引違い戸 (2枚建) 70				引違い戸 (2枚建) 70				引違い戸 (2枚建) 70							
材料・仕上	アルミ				アルミ				アルミ							
硝子	網入り型板6.8				網入り型板6.8				網入り透明6.8							
金物	付属金物一式 アルミパネル				付属金物一式 アルミパネル				付属金物一式 アルミパネル							
備考	カバー工法により改修 (改修年度不明)				カバー工法により改修 (改修年度不明)				カバー工法により改修 (改修年度不明)							
CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事															
DRAWING NAME	改修前 建具表 (2)															
 <b>コダニ建築環境設計(有)</b> 一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号																
SCALE				DATE				DRAWING BY				CHECKED BY				
1/50				R7/10				河野				小谷				
PROJECT NO				DRAWING NO												
				A-17												

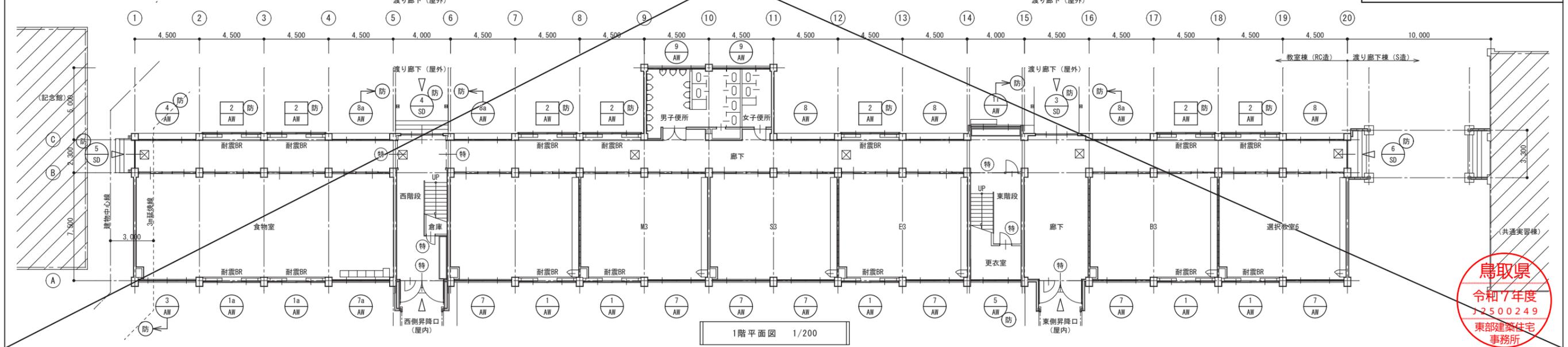
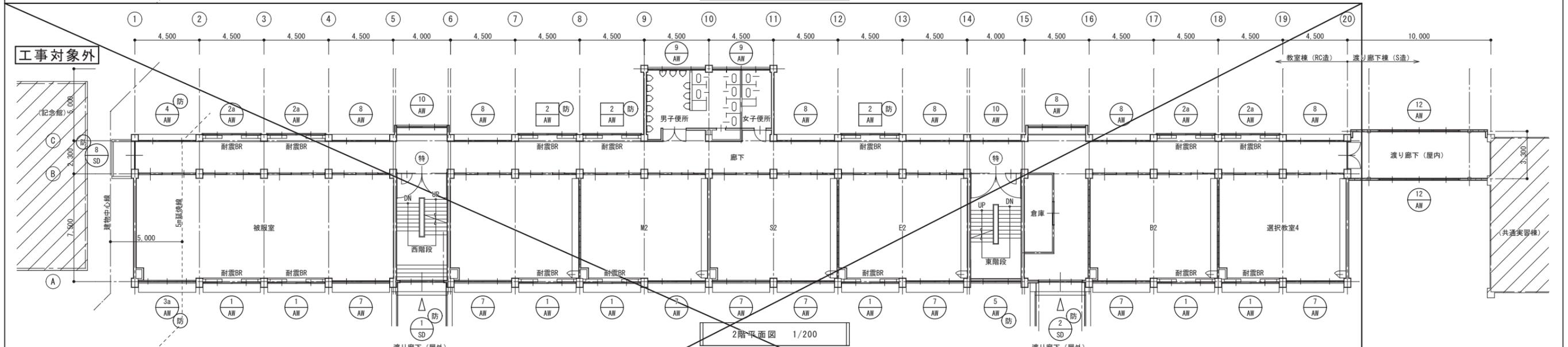
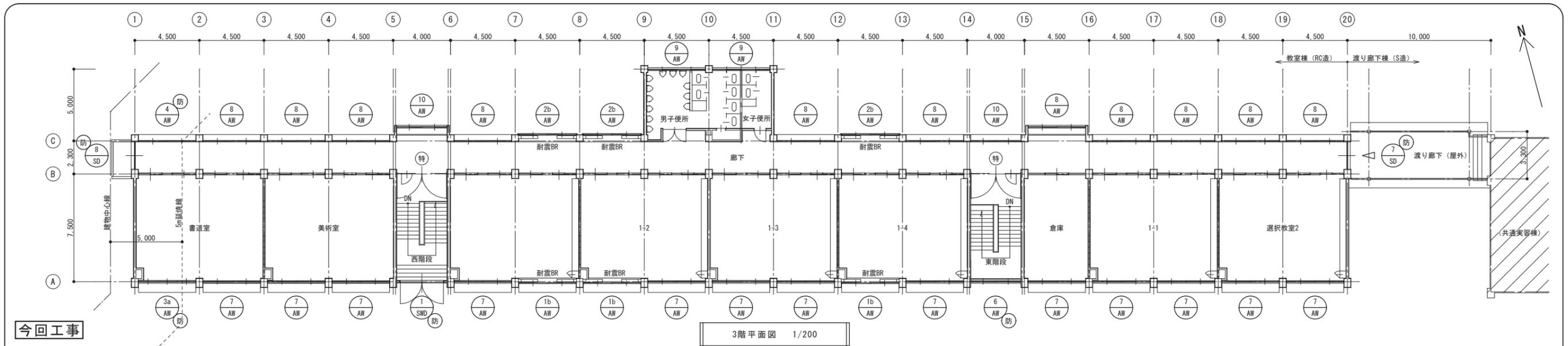
鳥取県  
令和7年度  
J2500249  
東部建築住宅  
事務所

記号・数量	1 SD	西面	階	1F	2F	3F	1 SWD	南面	階	1F	2F	3F
			箇所		1	1			箇所			1
形状・寸法												
	形式・見込	引違い戸	86	2連引違い窓付両開き戸	86							
材料・仕上	鋼製						鋼製					
硝子	網入り型板6.8						端部、ドア部：網入り型板6.8 中央上部：スリ3 中央下部：透明3					
金物	シリンダー差込錠 引手 戸車						付属金物一式 吊車 ピボットヒンジ ユニロック フランス落し ドアチェック					
備考												

共通事項					特記事項	
表示略号	略号	建具	略号	ガラス	平面図表示建具符号	1. 教室棟3階及び2階渡り廊下棟の外部建具を改修工事対象とする
	AD	アルミ製戸	P	フロート板ガラス	(改修前)	
	AW	アルミ製窓	F	型板ガラス	整理番号	
	SD	鋼製戸	NF	網入り型板ガラス	建具略号	
	SW	鋼製窓	NP	網入磨板ガラス	(改修後)	
			T ( )	強化ガラス (材料板ガラス)	整理番号	
			IG (O) ( )	複層ガラス (材料板ガラス) (O) は断熱性、日射取得性・ 日射遮蔽性による区分を示す	建具略号	
			DS ( )	倍強度ガラス (材料板ガラス)		
			L ( )	合わせガラス (材料板ガラス)		
			Low-E	低放射ガラス		
複層ガラスは、室内・室外側に使用するガラスは下記のとおりとする。 【内 (材料板ガラス) + A + 外 (材料板ガラス)】 【内：室内側ガラス、外：室外側ガラス、A：空気、AR：アルゴン】						

CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事	 <b>コダニ建築環境設計(有)</b> 一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号	SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
DRAWING NAME	改修前 建具表 (3)		1/50	R7/10		
			PROJECT NO	DRAWING NO		
				A-18		





CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 改修後 建具配置図

コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/200	R7/10	河野	小谷
PROJECT NO	DRAWING NO		
	A-19		

鳥取県  
令和7年度  
J2500249  
東部建築住宅  
事務所

記号・数量	1 南面				1a 南面				2 北面				2a 北面				2b 北面			
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
	箇所	5	7		箇所	2	-		箇所	7	3		箇所	4			箇所	1	1	
形状・寸法																				
形式・見込	腰パネル付2連2段引違い窓【カバー工法(引違い窓)】				腰パネル付2連2段引違い窓【カバー工法(引違い窓)】				腰パネル付2連引違い窓【既存のまま】				腰パネル付2連引違い窓【カバー工法(引違い窓)】							
材料・仕上	アルミ(シルバー) ALC枠				アルミ(シルバー) ALC枠				アルミ(シルバー) ALC枠				アルミ(シルバー) ALC枠							
硝子	上段: F4+A6+Low-E4 下段: T4+A6+Low-E4 (断熱タイプ)				上段: F4+A6+Low-E4 下段: T4+A6+Low-E4 (断熱タイプ)				上段: F4+A6+Low-E4 下段: T4+A6+Low-E4 (断熱タイプ)				T4+A6+Low-E4 (断熱タイプ)							
金物	付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミカバー(3方)				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミパネル アルミカバー(3方)				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミカバー(両端部)							
備考	方立、無目、アルミパネル【既存のまま】				方立、無目、腰アルミパネル【既存のまま】								方立、無目、アルミパネル【既存のまま】							
記号・数量	3 南面				3a 南面				4 北面				5 南面							
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F				
	箇所	1	-		箇所	1	1	箇所	1	1		箇所	1	1						
形状・寸法																				
形式・見込	3連2段引違い窓【はつり撤去新設】				3連2段引違い窓【はつり撤去新設】				2連引違い窓【カバー工法】				2連2段引違い窓【カバー工法】							
材料・仕上	アルミ(シルバー)				アルミ(シルバー)				アルミ(シルバー)				アルミ(シルバー)							
硝子	【防火設備】上段: Low-E5+A6+NF6.8 下段: Low-E5+A6+NP6.8 (断熱タイプ) 【その他】上段: F4+A6+Low-E4 下段: T4+A6+Low-E4 (断熱タイプ)				上段: Low-E5+A6+NF6.8 下段: Low-E5+A6+NP6.8 (断熱タイプ)				Low-E5+A6+NP6.8 (断熱タイプ)				Low-E5+A6+NP6.8 (断熱タイプ)							
金物	付属金物一式 アルミ額縁 アルミ水切				付属金物一式 アルミ額縁 アルミ水切				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切							
備考									H21年にカバー工法により改修したアルミサッシ【撤去(枠共)】 ※建設当時の枠は既存のまま				H21年にカバー工法により改修したアルミサッシ【撤去(枠共)】 ※建設当時の枠は既存のまま							
記号・数量	6 南面				7 南面				7a 南面				8 北面							
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F				
	箇所	1	-		箇所	7	8	13	箇所	1	-		箇所	3	7	11				
形状・寸法																				
形式・見込	2連2段引違い窓【カバー工法】				2連2段引違い窓【カバー工法】				2連2段引違い窓【カバー工法】				2連引違い窓【カバー工法】							
材料・仕上	アルミ(シルバー)				アルミ(シルバー)				アルミ(シルバー)				アルミ(シルバー)							
硝子	Low-E5+A6+NP6.8 (断熱タイプ)				上段: F4+A6+Low-E4 下段: T4+A6+Low-E4 (断熱タイプ)				上段: F4+A6+Low-E4 下段: T4+A6+Low-E4 (断熱タイプ)				T4+A6+Low-E4 (断熱タイプ)							
金物	付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切 アルミパネル				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切							
備考																				

CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 改修後 建具表(1)

コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE 1/50  
PROJECT NO  
DATE R7/10  
DRAWING NO A-20  
DRAWING BY 河野  
CHECKED BY 小谷



記号・数量	9 AW 北面				10 AW 北面				11 AW 北面				12 AW 南面・北面			
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
箇所	2				2				2				2			
形状・寸法																
形式・見込	2連引違い窓 【カバー工法】				2連引違い窓 【カバー工法】				2連引違い窓 【カバー工法】				3連引違い窓 【カバー工法】			
材料・仕上	アルミ (シルバー)				アルミ (シルバー)				アルミ (シルバー)				アルミ (シルバー)			
硝子	F4+A6+Low-E4 (遮熱タイプ)				T4+A6+Low-E4 (遮熱タイプ)				【防火設備】 上段: Low-E5+A6+NP6.8 下段: Low-E5+A6+NP6.8 (断熱タイプ) 【その他】 上段: T4+A6+Low-E4 下段: T4+A6+Low-E4 (遮熱タイプ)				T4+A6+Low-E4 (遮熱タイプ)			
金物	付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切				付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切			
備考	男子・女子便所間仕切壁部の方は、間仕切壁位置に合わせる															
記号・数量	1 SD 南面				2 SD 南面				3 SD 北面				4 SD 北面			
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
箇所	-				1				-				1			
形状・寸法																
形式・見込	引違い戸 (4枚建) 【カバー工法】				引違い戸 (4枚建) 【カバー工法】				ランマ付引違い戸 (4枚建) 【カバー工法】				ランマ付引違い戸 (4枚建) 【カバー工法】			
材料・仕上	鋼製				鋼製				鋼製				鋼製			
硝子	Low-E4+A6+NP6.8 (断熱タイプ)				Low-E4+A6+NP6.8 (断熱タイプ)				Low-E4+A6+NP6.8 (断熱タイプ)				Low-E4+A6+NP6.8 (断熱タイプ)			
金物	付属金物一式 SUS製番撒・水切t=1.5 引違戸錠 堀込引手				付属金物一式 SUS製番撒・水切t=1.5 引違戸錠 堀込引手				付属金物一式 SUS製番撒・水切t=1.5 引違戸錠 堀込引手				付属金物一式 SUS製番撒・水切t=1.5 引違戸錠 堀込引手			
備考	カバー工法により改修したアルミドア【撤去(枠共)】、番撒【はつり撤去】、三方枠DP塗り ※建設当時の三方枠は既存のまま、番撒は撤去				カバー工法により改修したアルミドア【撤去(枠共)】、番撒【はつり撤去】、三方枠DP塗り ※建設当時の三方枠は既存のまま、番撒は撤去				カバー工法により改修したアルミドア【撤去(枠共)】、番撒【はつり撤去】、三方枠DP塗り ※建設当時の三方枠は既存のまま、番撒は撤去				カバー工法により改修したアルミドア【撤去(枠共)】、番撒【はつり撤去】、三方枠DP塗り ※建設当時の三方枠は既存のまま、番撒は撤去			
記号・数量	5 SD 西面				6 SD 東面				7 SD 東面							
	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F	階	1F	2F	3F
箇所	1				-				-				1			
形状・寸法																
形式・見込	引違い戸 (2枚建) 【カバー工法】				引違い戸 (2枚建) 【カバー工法】				引違い戸 (2枚建) 【カバー工法】							
材料・仕上	鋼製				鋼製				鋼製							
硝子	Low-E4+A6+NP6.8 (断熱タイプ)				Low-E4+A6+NP6.8 (断熱タイプ)				Low-E4+A6+NP6.8 (断熱タイプ)							
金物	付属金物一式 SUS製番撒・水切t=1.5 引違戸錠 堀込引手				付属金物一式 SUS製番撒・水切t=1.5 引違戸錠 堀込引手				付属金物一式 SUS製番撒・水切t=1.5 引違戸錠 堀込引手							
備考	カバー工法により改修したアルミドア【撤去(枠共)】、三方枠DP塗り ※建設当時の三方枠、番撒は既存のまま				カバー工法により改修したアルミドア【撤去(枠共)】、三方枠DP塗り ※建設当時の三方枠、番撒は既存のまま				カバー工法により改修したアルミドア【撤去(枠共)】、三方枠DP塗り ※建設当時の三方枠、番撒は既存のまま							

CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 改修後 建具表 (2)

コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/50	R7/10	河野	小谷
PROJECT NO	DRAWING NO		
	A-21		

鳥取県  
令和7年度  
J2500249  
東部建築住宅  
事務所

記号・数量	8 SD 西面			1 SWD 南面			8a AW 北面			
	階	箇所	数量	階	箇所	数量	階	箇所	数量	
形状・寸法	防火設備			防火設備			防火設備			
	形式・見込	引違い戸 (2枚建) 【カバー工法】			2連引違い窓付両開き戸 【カバー工法】			2連引違い窓 【カバー工法】		
	材料・仕上	鋼製			鋼製			アルミ (シルバース)		
	硝子	Low-E4+A6+NF6.8 (断熱タイプ)			上段引違い窓: Low-E4+A6+NF6.8 下段引違い窓: Low-E4+A6+NP6.8 両開き戸: Low-E4+A6+NF6.8 (断熱タイプ)			【防火設備】 Low-E5+A6+NP6.8 (断熱タイプ) 【その他】 T4+A6+Low-E4 (遮熱タイプ)		
金物	付属金物一式 SUS製番摺・水切t=1.5 引違い戸錠 廻込引手			付属金物一式 SUS製番摺・水切t=1.5 大型丁番 本締付モノコック ドアクローザー 閉鎖順位調整器 戸当り			付属金物一式 アルミ内・外額縁 アルミ水切			
備考	三方枠DP塗り			三方枠DP塗り						

共通事項					特記事項	
表示略号	略号	建具	略号	ガラス	平面図表示建具符号	1. 教室棟3階及び2階渡り廊下棟の外部建具を改修工事対象とする
	AD	アルミ製戸	P	フロート板ガラス	(改修前)	
	AW	アルミ製窓	F	型板ガラス	整理番号	
	SD	鋼製戸	NF	網入型板ガラス	建具略号	
	SW	鋼製窓	NP	網入磨板ガラス	(改修後)	
			T ( )	強化ガラス (材料板ガラス)	整理番号	
			IG (O) ( )	複層ガラス (材料板ガラス) (O)は断熱性・日射取得性・日射遮蔽性による区分を示す	建具略号	
			DS ( )	倍強度ガラス (材料板ガラス)		
			L ( )	合わせガラス (材料板ガラス)		
			Low-E	低放射ガラス		
複層ガラスは、室内・室外側に使用するガラスは下記のとおりとする。 【内 (材料板ガラス) + A + 外 (材料板ガラス)】 【内: 室内側ガラス、外: 室外側ガラス、A: 空気、AR: アルゴン】						

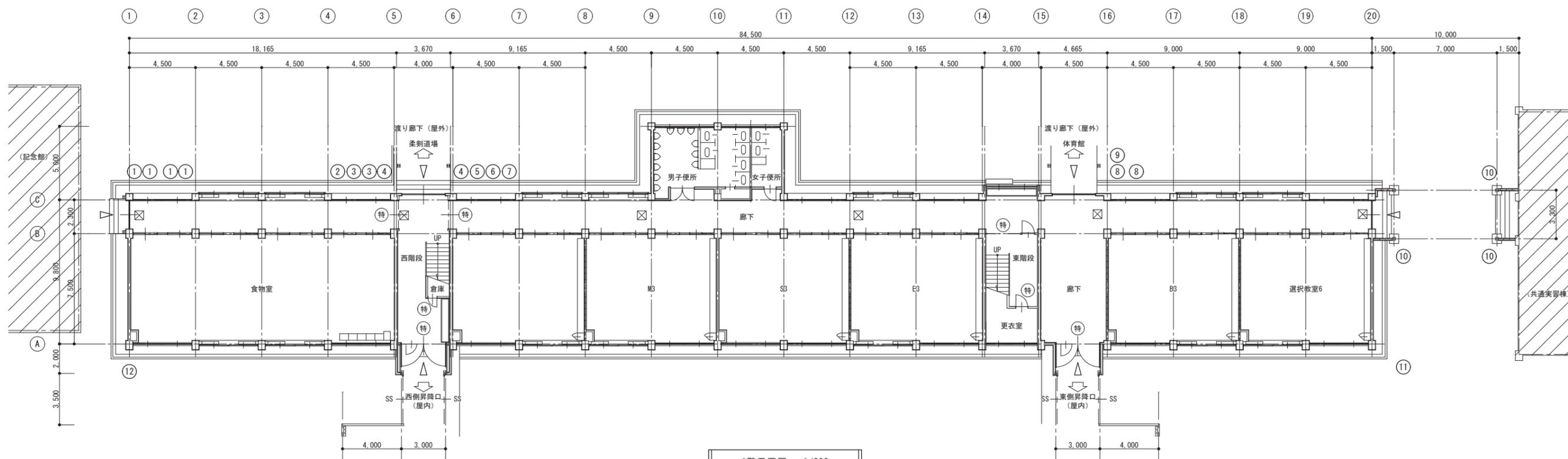
CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事	コダニ建築環境設計(有) 一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号	SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
DRAWING NAME	改修後 建具表 (3)		1/50	R7/10	河野	小谷
			PROJECT NO	DRAWING NO		
				A-22		





【伐採立木一覧表】 ※立木は、伐採までとする

番号	幹周 (m)	高さ (m)	本数	備考
①	0.40	1.5	4	
②	0.30	1.3	1	
③	0.25	1.3	2	
④	0.60	1.6	2	
⑤	0.50	1.3	1	
⑥	0.30	1.4	1	
⑦	0.40	1.4	1	
⑧	0.45	1.5	2	
⑨	0.55	1.5	1	
⑩	0.55	2.0	3	
⑪	0.60	3.0	1	
⑫	0.70	3.5	1	



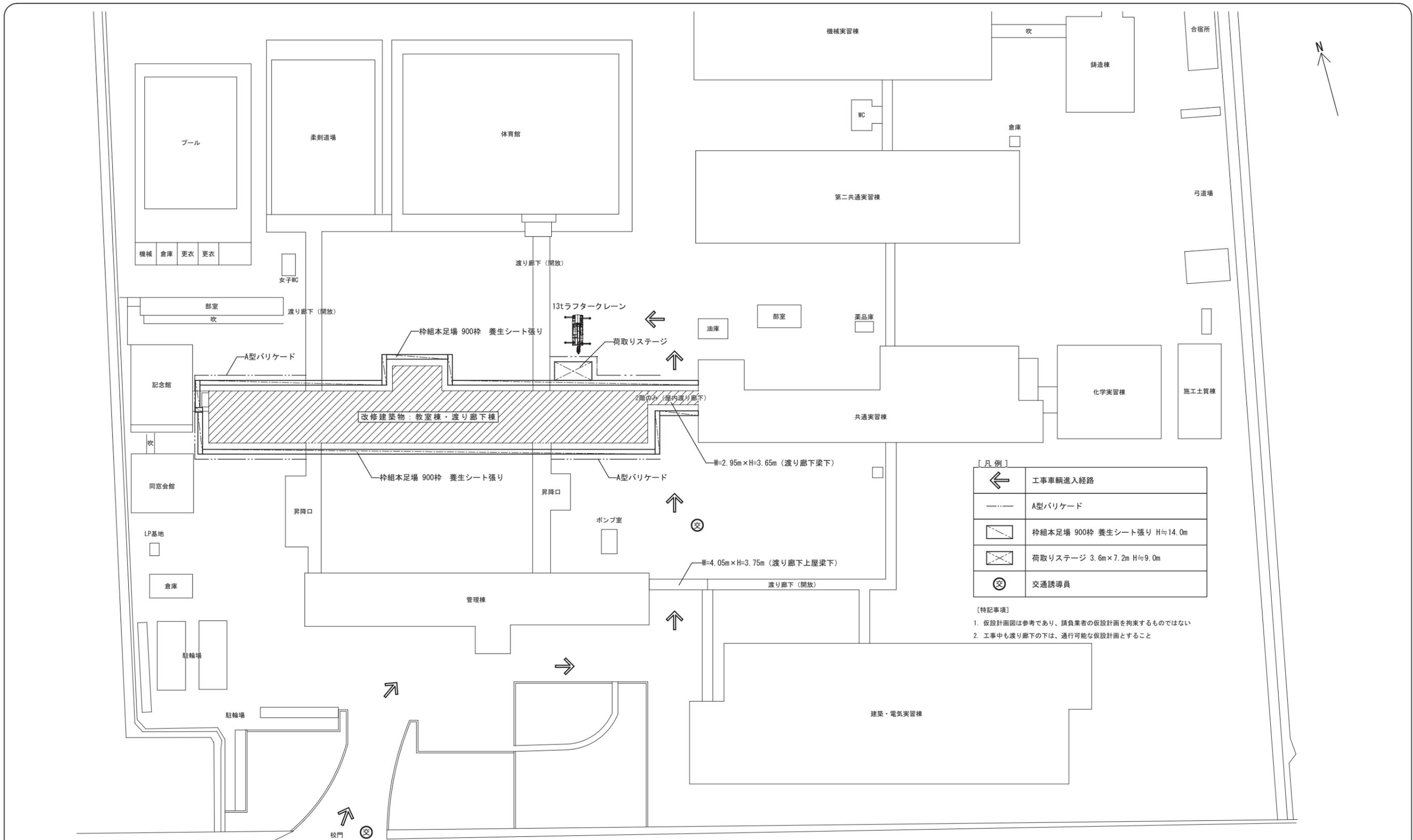
CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 外構撤去図

**コダニ建築環境設計(有)**  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE 1/200  
DATE R7/10  
PROJECT NO  
DRAWING NO A-23

DRAWING BY 河野  
CHECKED BY 小谷

鳥取県  
令和7年度  
J2500249  
東部建築住宅  
事務所



[凡例]

	工事車輛進入経路
	A型バリケード
	枠組本足場 900枠 養生シート張り H≒14.0m
	荷取りステージ 3.6m x 7.2m H≒9.0m
	交通誘導員

- [特記事項]
- 仮設計画図は参考であり、請負業者の仮設計画を拘束するものではない
  - 工事中も渡り廊下の下は、通行可能な仮設計画とすること

市道 久末生山線

仮設計画図 1/500

CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 仮設計画図 (参考図)

**コダニ建築環境設計(有)**  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/500	R7/10		
PROJECT NO	DRAWING NO		
	A-24		







特記事項

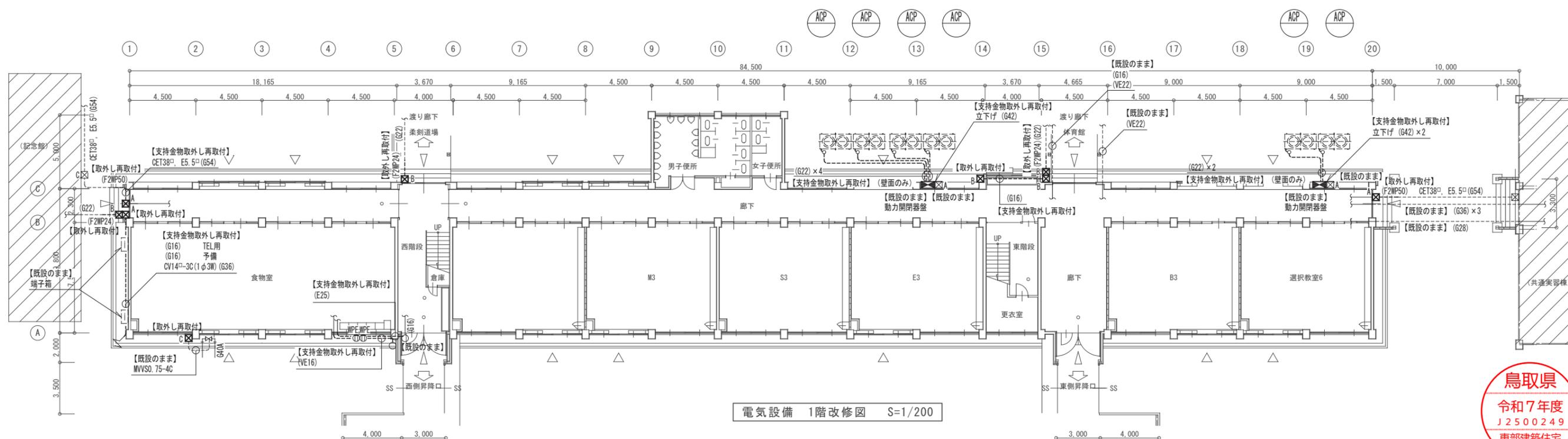
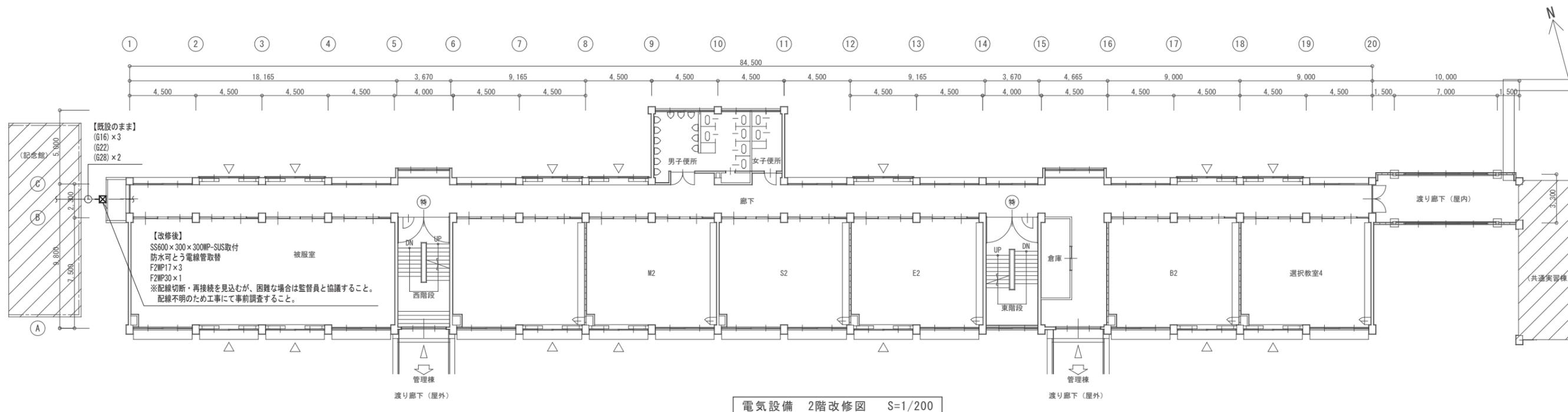
1. 図中大線を本工事とし、細線は既設のままとする。
2. 既設配管は支持金物のみ取外し、取外後は足場等へ仮設支持をし、建築外壁改修工事終了後復旧とする。
3. 図中、図示なき配管配線がある場合は監督員と協議の上、工事に支障のないよう対応すること。

凡例

	動力開閉器盤	図示参照	既設のまま
	端子箱	図示参照	既設のまま
	防水コンセント	2P15A×1 接地極付	既設のまま
	プルボックス	リスト参照	取外し再取付
	丸形露出ボックス	図示参照	既設のまま

プルボックスリスト

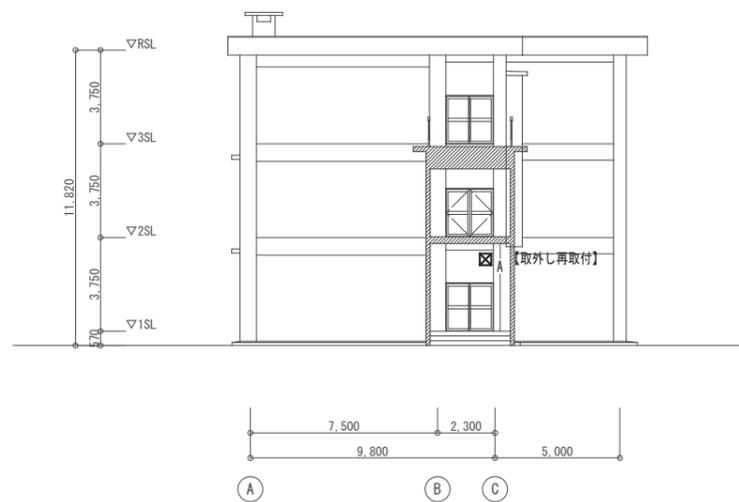
	A	SS300□×200WP-SUS
	B	SS150□×100WP-SUS
	C	SS100□×100WP-SUS



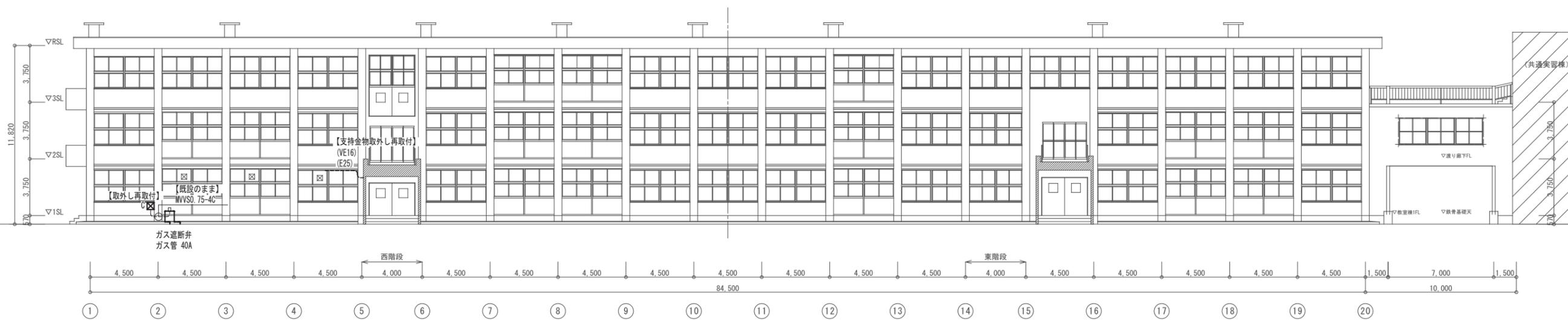
CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 電気設備 1・2階改修図

コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/200	R7/10		
PROJECT NO	DRAWING NO		
	E-03		



電気設備 東側立面図 S=1/200



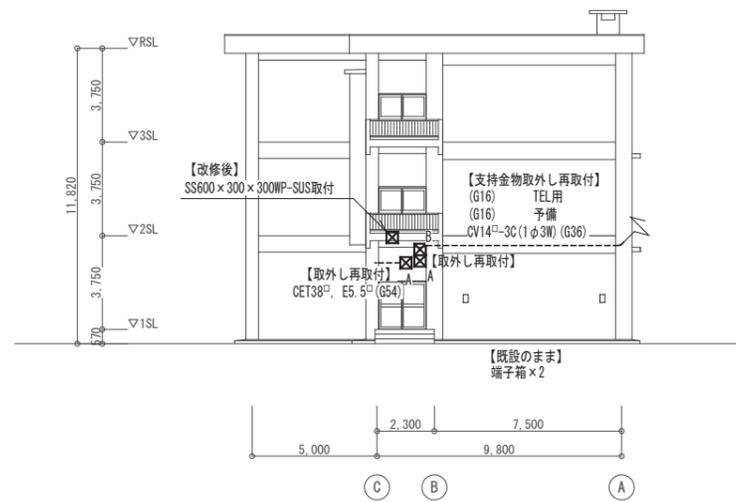
電気設備 南側立面図 S=1/200



CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事
DRAWING NAME	電気設備 東・南側立面図


**コダニ建築環境設計(有)**  
 一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/200	R7/10		
PROJECT NO	DRAWING NO		
	E-04		



電気設備 西側立面図 S=1/200

【改修後】  
 SS600×300×300WP-SUS取付  
 防水可とう電線管取替  
 F2WP17×3  
 F2WP30×1  
 ※配線切断・再接線を見込むが、困難な場合は監督員と協議すること。  
 配線不明のため工事にて事前調査すること。



電気設備 北側立面図 S=1/200

鳥取県  
 令和7年度  
 J2500249  
 東部建築住宅  
 事務所

CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事
DRAWING NAME	電気設備 西・北側立面図

コダニ建築環境設計(有)  
 一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/200	R7/10		
PROJECT NO	DRAWING NO		
	E-05		



一般共通事項

21 鋼管類の防食処理

22 絶縁継手

23 防振継手

24 伸縮継手

25 塗装

26 ステンレス鋼管の接合方法

27 溶接配管の検査

28 埋設表示

29 支持金物・固定金具

30 総合試運転調整

31 アスベスト含有建材の処理

32 補修など

33 はつり

34 はつり工事における非破壊検査

35 室内空気中の化学物質の濃度測定

36 火災保険等

37 グリーン購入

38 鳥取県公共工事環境配慮指針

39 建築物省エネ法

40 耐震施工

地中埋設

- ベトロラム系
- ブチルゴム系
- 熱収縮チューブ及びシート

● 標準図（施工3）

- (1) 絶縁フランジ
- (2) 絶縁シート
- (3) 絶縁スリーブ
- (4) 絶縁ユニオン

※ 合成ゴム製（球形）

- ポリテトラフルオロエチレン製
- ペローズ形（ステンレス製）

※ ペローズ形

- スリーブ形

各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）

(ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く）

(イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面

(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分

(エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類

(オ)樹脂コーティング等をしたもので、常時隠べいされる部分

(カ)カラー垂鉛鉄板面

(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面

(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理をした面

(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管

● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所

呼び径60以下以下の継手は、SAS322を満足するものとする。

● ガス配管

- 冷水配管
- 冷却水配管

非破壊検査の適用

- 放射線透過検査
- 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査

抜 取 率

- 標準仕様書による
- %

● 地中埋設標を図示する箇所に設ける。

● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● 屋外排水管 ）

ポンプ、屋外設置機器及びビッド内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。

屋外及びビッド内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。

下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。

- 温度
- 湿度
- 風量
- 騒音
- 水量
- 浄化槽放流水質
- 風速
- じんあい
- 飲料水水質
- 一般飲料水適否検査
- その他水質等
- 雑用水
- 空調用流体

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による、処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 果有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

- 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。
- 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
- アスベスト粉じん濃度測定を行う。

（測定時期： 測定場所： 測定点： ）

- 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。
- 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
- 対象箇所

工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

探査方法 ※電磁誘導式 ●放射線透過検査

実施する。

工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。）

グリーン購入は次のものとする。

- 空調用機器
- 衛生器具
- 断熱材
- 配管材
- 再生硬質ポリ塩化ビニル管
- その他

対象工事

対象工事

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

(1) 機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効質量）[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度	特定の施設	一般の施設
設置場所	●重要機器	●一般機器
上層階 屋上、塔屋	機器	2.0 1.5 1.5 1.0
	防振設置機器	2.0 2.0 2.0 1.5
中間階	機器	1.5 1.0 1.0 0.6
	防振設置機器	1.5 1.5 1.5 1.0
地階・1階	機器	1.0 0.6 0.6 0.4
	防振設置機器	1.0 1.0 1.0 0.6
水槽類	1.5 1.0 1.0 0.6	

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階

中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

重要機器 ●換気機器 ●空調機器 ●熱源機器 ●防災機器 ●監視制御設備 ●危険物貯蔵装置 ●火を使用する設備 ●避難経路上に設置する機器 ●水槽類（燃料小出槽を含む） ●

(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センターを参考にする。

1 空調調和設備

2 冷暖房設備

3 換気設備

4 排煙設備

5 自動制御設備

1 設計用温度湿度条件

	外気条件				室内（調整目標値）			
	一般		（ ）		一般		（ ）	
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度
夏季	℃	%	28.0	℃	%	℃	%	
冬季	℃	%	19.0	℃	%	℃	%	

※ SGP（白） ● SGP-V A ● SGP-P A

※ SGP（白） ● SGP-H V A ● ステンレス鋼管（SUS304）

- 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）
- SGP（白） ● ステンレス鋼管（SUS304）
- SGP（黒）

※ STPG370-Sch40（黒） ● ステンレス鋼管（SUS304）

一般配管 ※ SGP（黒） 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管

※ 断熱材被覆鋼管

- ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●
- SGP（白） ● VP

※ 5K ● 10K

※ 流量調整弁 ● 定流量弁（ ● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。

(ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式

(イ) ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● （動作電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。）

- 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト
- 長方形ダクト ● コナーボルト工法（ ● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法 ）
- （長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。）
- アングルフランジ工法

- 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。

ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製

シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工49）を参考とする。

接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。

線状吹出口には、（長さ+100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。

外壁に面するガラリにチャンパー等を取付ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。

吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。

内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。

吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。

形式はピトー管式（コック付）とする。 ● 着脱式 ● 固定式

下記の箇所、若しくは図示により取付ける。

- 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング
- 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング
- ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング
- 冷水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング
- ユニット形空調和機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング
- メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

- 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製

材質及び厚さ ● SS400（※3.2mm ● 4.5mm） ● SUS（※1.5mm ● 2.0mm）

煤煙温度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

煤じん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ● 取付けない

24 オイルサースタック

25 地下オイルタンク

据付け方法 ● 標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し） ● 標準図（施工33）（タンク室有り）

タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト

基礎杭 ※ 不要 ● 要（※ 別途工事 ● 本工事）

土留め工事 ● 要 ● 不要

タンクローリー用アース端子を設ける。

油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●

- 機器表特記による。
- 空調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。

インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。

標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。

※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製（厚1.6mm）

形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形

取付け ● 天井取付 ● 壁取付

電気式（遠隔操作 ※ 不要 ● 要）

建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。

1 中央監視制御装置 ● 有り（構成機能は、図示による） ● 無し

2 電源装置 ● 要（ ● 本工事 ● 別途工事 ） ● 不要

3 温度調節器等 ● 取付高さ ※ 1300mm ● mm

4 計装工事の配線 ● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 ● 天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。

6 衛生器具設備

7 給水設備

8 排水設備

9 給湯設備

10 消火設備

11 ガス設備

12 浄化槽設備

1 衛生器具の参考型番

2 小便器用節水装置

3 自動水栓

4 大便器洗浄弁

5 温水洗浄便座

6 器具と排水管接続

1 量水器

2 配管材料

3 弁類

4 水槽のマンホール

1 配管材料

2 弁類

3 バイブシャフト内配管の保温

4 煙試験

1 配管材料

2 弁類

1 配管材料

2 弁類

3 保温

4 屋内消火栓

5 ガス系消火剤の種類

6 ガス系消火の起動方式

1 都市ガス設備

2 配管材料

3 ガスメータ

4 バルク貯槽

5 容器廻りの配管

6 容器転倒防止

7 ガス漏れ警報器

1 処理種別及び方式

2 型式

3 処理能力

4 放流水の水質

5 排水方式

6 埋戻し土

7 土留め工事

8 マンホールふた

9 消毒薬

型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。

- 小便器一体型 ● 小便器分離型
- 洗浄水量4リットル/回以下
- 個別感知方式（ ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ） ● 手動式
- 電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池
- 操作方式 ● 電気開閉式（ ● センサー式 ● タッチスイッチ式 ） ● 手動式

洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式

※ 標準図（施工64） ● 標準図（施工65）

- 親メーター ※ 借用 ● 買取（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ）
- 子メーター ※ 買取 ● 借用（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ）

(ア)一般配管 ● SGP-V B ● SGP-P B ● SUS304 ● SUS316 ● H I V P ● 架橋ポリエチレン管

(イ)土間下配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● SUS304 ● SUS316

(ウ)地中配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● SUS304 ● SUS316 ● 水道配用水用ポリエチレン管（75～100A） ● 水道用ポリエチレン二層管（50A以下）

(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。

(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）

(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75以上 ※ 融着継手

※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。

- 5K（受水槽以降の配管に使用） ● 10K（公営水道に直結する配管に使用）
- 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）

屋外に設置する水槽のマンホール妻は保温形（二重妻含む）とする。

(ア)屋内汚水管 ● VP ● R F - V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管

(イ)屋内雑排水管 ● VP ● R F - V P ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管

(ウ)ポンプ排水管 ● VP（水道用） ● H I V P ● 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用継手）

(エ)通気管 ● VP ● R F - V P ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管

(オ)屋外排水管 ● VP ● R F - V P ● V U（地中） ● R E P - V U（地中） ● R S - V U ● 卵形管 ● コンクリート管

3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない

※ 施工する ● 施工しない

※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う

- SGP-H V A ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管
- 保温付被覆鋼管 ● 鋼管

湯沸器、給湯機器の付属配管等は製造業者標準品とする。

※ 5K ● 10K

(ア)一般配管 ● SGP（白） ● STPG

(イ)土間下配管 ● SGP-V S ● STPG-V S

(ウ)地中配管 ● SGP-V S ● STPG-V S

※ 10K ● 16K

(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する

(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する

(ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・VIIによる）

- 屋内消火栓用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● スプリンクラー用（ ※ 施工しない ● 施工する ）
- 連結送水用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 連結散水用（ ※ 施工しない ● 施工する ）
- 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓（ ● 1号 ● 2号 ）
- 窒素 ● I G - 5 4 1 ● I G - 5 5 ● H F C - 2 2 7 e a ● H F C - 2 3
- ※ 手動 ● 自動手動切替式

都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。

(ア)一般配管 ※ SGP（白） ● 合成樹脂被覆鋼管

(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管

(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管

- 親メーター ※ 借用 ● 買取（取付け ※ 別途 ● 本工事）
- 子メーター ※ 買取 ● 借用（取付け ※ 本工事 ● 別途）
- 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取
- 標準図（施工73）の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c)
- 標準図（施工74）の ● 要領(a) ● 要領(b)
- 不要 ● 要（※ 別途工事 ● 本工事）

- 小規模合併処理（ ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ）
- その他性能評価を受けた方式（ ）
- 合併処理（ ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 ）
- ユニット型 ● 現場施工型
- 処理対象人員 人 ● 処理水量 m<sup>3</sup>/d
- 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下
- T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下

※ 自然流下 ● ポンプ排水

- 砂 ● 根切土の中の良質土
- 不要 ● 要（図示による）

※ 製造者標準仕様（ロック式） ● MHA型（ボルト式）

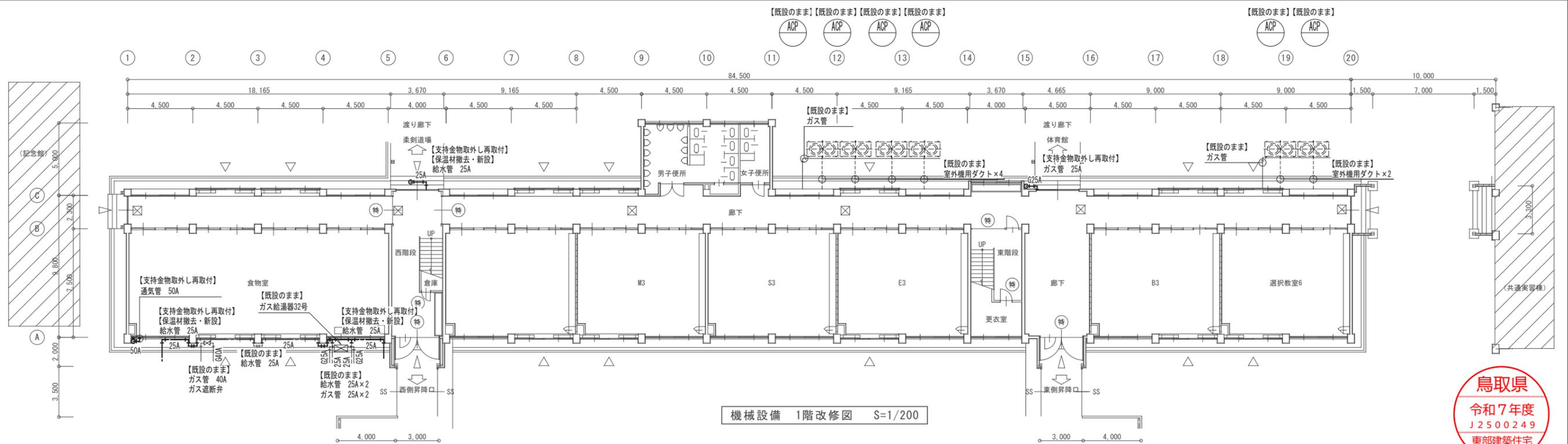
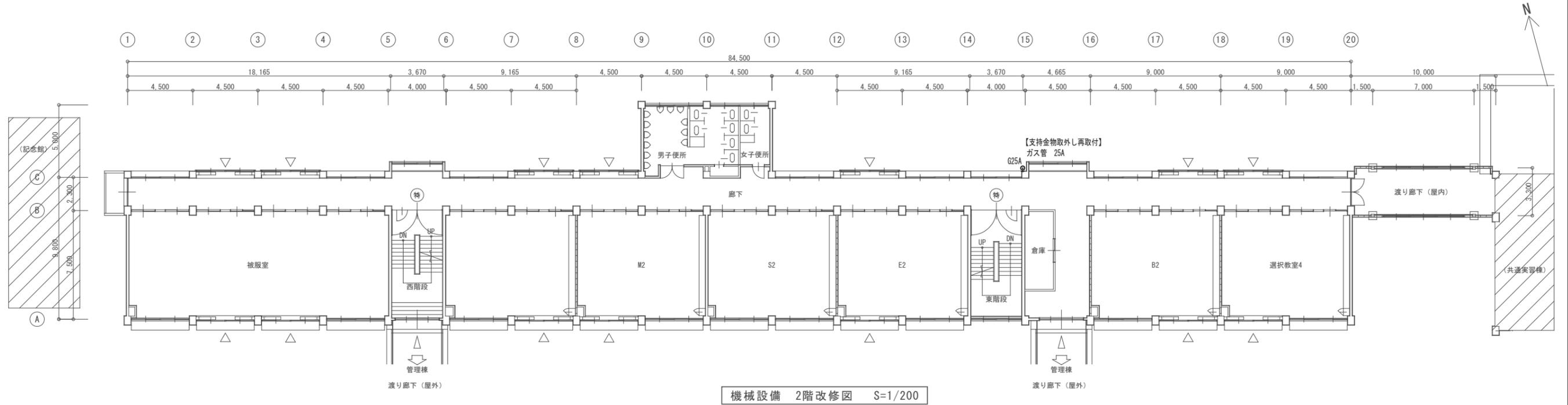
3ヶ月相当分を納入する。

特記事項

1. 図中大線を本工事とし、細線は既設のままとする。
2. 既設配管は支持金物のみ取外し、取外し後は足場等へ仮設支持をし、建築外壁改修工事終了後復旧とする。
3. 図中、図示なき配管配線がある場合は監督員と協議の上、工事に支障のないよう対応すること。

配管リスト

記号	名称	備考
----	給水配管 屋外露出 SGP-VB	
----	通気配管 屋外露出 VP	
G	ガス配管 屋外露出 SGP (白)	

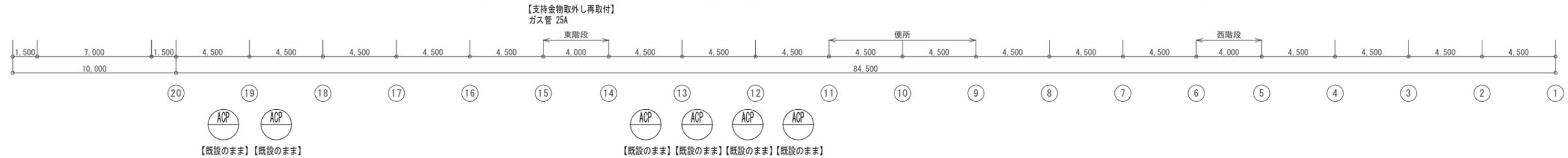
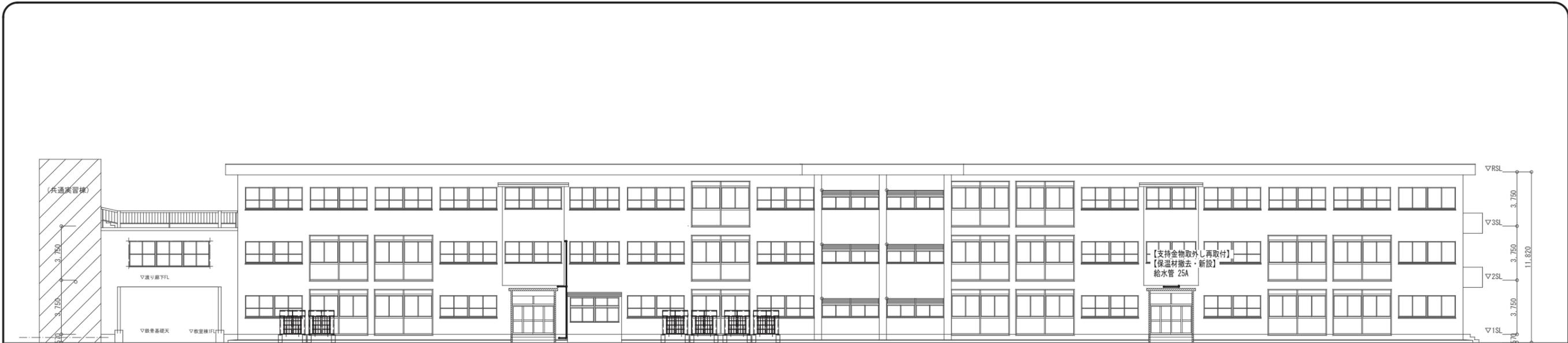


CONSTRUCTION NAME 県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事  
DRAWING NAME 機械設備 1・2階改修図

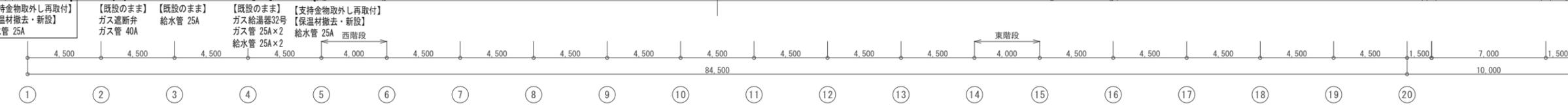
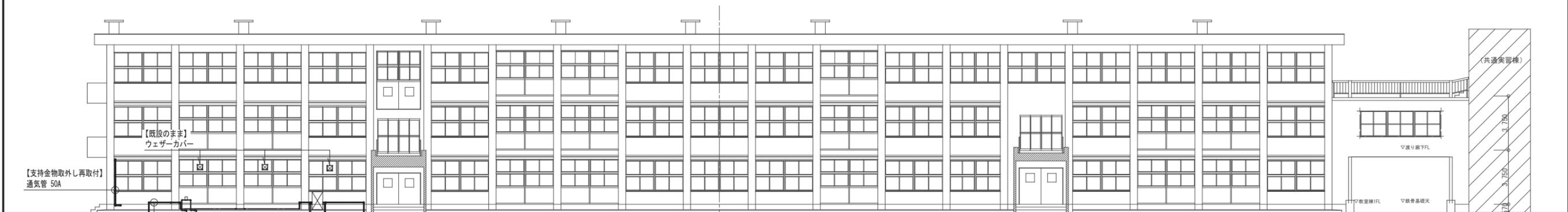
コダニ建築環境設計(有)  
一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/200	R7/10		
PROJECT NO	DRAWING NO		
	M-03		

鳥取県  
令和7年度  
J2500249  
東部建築住宅  
事務所



機械設備 北側立面図 S=1/200



機械設備 南側立面図 S=1/200



CONSTRUCTION NAME	県立鳥取工業高等学校教室棟外壁等改修工事
DRAWING NAME	機械設備 北・南側立面図


**コダニ建築環境設計(有)**  
 一級建築士 河野雄一郎 大臣登録 第 376081 号

SCALE	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY
1/200	R7/10		
PROJECT NO	DRAWING NO		
	M-04		